

令和5年度 事業報告書

自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日

社会福祉法人長泉町社会福祉協議会

令和 5 年度 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会 事業報告

本会では、第 6 次長泉町地域福祉活動計画及び令和 4 年度の事業計画に基づき、「いきいきとした暮らしを支える 優しい ながいずみ」の実現に向けて、行政、民生委員・児童委員協議会、区長連絡協議会、福祉施設、福祉団体並びに関係機関との連携を図りながら、町民の皆様と協働して社会福祉事業を推進した。

なお、令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 3 1 日までの事業ごとの内容は、次葉より報告する。

令和 6 年 5 月 2 3 日

社会福祉法人長泉町社会福祉協議会

会 長 芹 澤 和 代

令和5年度 事業報告書 目次

ページ

I 社会福祉事業

1 法人本部拠点区分

1-1 法人運営事業	1
1-2 地域福祉活動事業	2 2
1-3 福祉総合相談事業	3 7
1-4 共同募金助成金事業	4 2
1-5 手話通訳者派遣事業	4 6
1-6 小口資金貸付事業	4 9
1-7 生活支援体制整備事業	5 0
1-8 権利擁護推進事業	5 2

2 老人福祉センター拠点区分

2-1 福祉会館事業	5 4
------------	-----

3 介護サービス事業拠点区分

3-1 居宅介護支援事業	6 2
3-2 指定通所介護事業	6 5
3-3 指定認知症対応型通所介護事業	6 9
3-4 指定訪問介護事業	7 2
3-5 障害福祉サービス居宅介護・重度訪問介護・同行援護事業	7 4
3-6 移動支援事業	7 5
3-7 地域活動支援センター事業	7 6

II 公益事業

1 在宅福祉総合センター拠点区分

1-1 在宅福祉総合センター事業	7 8
1-2 在宅福祉総合センター食堂事業	8 4

事業報告の附属明細書	8 7
------------	-----

I 社会福祉事業

1 法人本部

1-1 法人運営事業

施策の方向3 関係機関・体制＜暮らしを支える包括的な体制づくり＞
基本施策3 地域福祉を推進する社会福祉協議会の機能強化

1 会員の拡充と基本財源の確保

本会の支援基盤及び財政的基盤を強化し健全な運営を図るため、会員の募集を行った。

(1) 会員募集結果（令和6年3月31日現在）

令和5年度	会員数	会費収入
普通会員	12,258 口	3,677,400 円
特別会員	254 口	254,000 円
合 計	12,512 口	3,931,400 円
前年比	126 口	39,900 円

(2) 会員数の推移

年 度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
普通会員	12,135	12,139	12,280
特別会員	251	262	263
合 計	12,386	12,401	12,543
会費収入	3,891,500 円	3,903,700 円	3,947,200 円

【事業の成果と課題】

前年比、普通会員 123 口 特別会員 3 口 計 126 口の増となった。

引き続き、町民からお寄せいただいた会費が効果的に活用されているか、広報、SNS やチラシを通して事業を紹介し、会費に対する十分な理解が得られるよう啓発に努めていきたい。

2 定款・規程等の整備

(1) 規程等の整備

① 地域共生社会推進委員会設置要綱の制定

地域住民や社会福祉を目的とする事業を経営する者及び社会福祉に関する活動を行う者の意思を本会事業に反映させるための委員会を設置するため、委員会設置要綱を制定した。

（令和5年7月1日施行）

- ② 社会福祉協議会役員等の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部改正
地域共生社会推進委員会設置要綱の制定に伴い、地域共生社会推進委員に報酬、費用弁償及び費用の支給を行うため規程の一部改正を行った。
(令和 5 年 7 月 1 日施行)
- ③ 嘱託等の就業規程の一部改正
地域活動支援センター事業に従事する職員もデイサービス事業に従事する職員と同様の業務に従事していることから、デイサービス事業に従事する職員と同様に処遇改善加算金を支給できるよう規程の一部改正を行った。
(令和 5 年 4 月 1 日施行)
- ④ 地域密着型認知症対応型通所介護事業所運営規程の一部改正
- ⑤ 地域密着型認知症対応型介護予防通所介護事業所運営規程の一部改正
- ⑥ 指定地域密着型通所介護事業所運営規程の一部改正
- ⑦ 介護予防・日常生活支援総合事業所運営規程の一部改正
- ⑧ 指定訪問介護事業所運営規程の一部改正
- ⑨ 指定訪問介護事業所第 1 号訪問事業運営規程の一部改正
令和 3 年度介護報酬改定において、全ての介護サービス事業者を対象に、利用者の人権の擁護、虐待の防止等の観点から、虐待の発生又はその再発を防止するための取組みが義務化されたことから、規程の一部改正を行った。
(令和 5 年 7 月 1 日施行)
- ⑩ 定款の一部改正
長泉町から重層的支援体制整備事業及び養育支援訪問事業を受託するにあたり、当会で行う法人事業に新たな事業としてこれらを追加するため、定款の一部改正を行った。(令和 5 年 7 月 1 4 日認可)
- ⑪ 職員就業規程の一部改正
- ⑫ 嘱託等の就業規程の一部改正
地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴い定年が引上げられたことから、町職員に準じ職員の定年を引き上げるため、規程の一部改正を行った。(令和 5 年 10 月 1 日施行)
- ⑬ 地域福祉活動助成金交付要綱の制定
地域共生社会の実現に向け、住み慣れた地域で安心して幸せに暮らせるまちづくりを目指し、地域で支え合う体制の構築に向けて、地域で活動する福祉団体の活動を推進するため、共同募金の配分金を活用した助成金交付要綱を制定した。(令和 6 年 4 月 1 日施行)

- ⑭ 歳末たすけあい地域福祉活動支援事業助成金交付要綱の制定
従前の助成内容を明文化することで助成しやすい環境を整えるとともに、新設される地域福祉活動助成金交付要綱と相まって地域福祉の課題解消に取り組む民間団体が行う年末年始の時期に実施する事業を支援するための助成金交付要綱を制定した。(令和6年4月1日施行)
- ⑮ 小地域福祉活動推進事業実施要綱の一部改正
- ⑯ 福祉教育実践校事業実施要綱の一部改正
- ⑰ ひとり暮らし高齢者福祉電話設置事業実施要綱の一部改正
- ⑱ 地域福祉活動助成金交付要綱の一部改正
令和5年9月27日付けで全国社会福祉協議会より発出された「令和5年度赤い羽根共同募金運動の実施について～共同募金の役割発揮に向けて～」において、赤い羽根による共同募金運動の使途を含めた可視化が求められており、この取組みの一環として赤い羽根共同募金を財源とした事業に係る関係要綱の一部改正を行なった。(令和6年4月1日施行)。
- ⑲ 定款の一部改正
長泉町在宅福祉総合センターで実施してきた食堂事業を廃止することから、定款の一部改正を行った。(令和6年5月1日認可)
- ⑳ 評議員・理事・監事選任規程の一部改正
評議員選出母体となる長泉町母子寡婦福祉会の名称変更に伴い、規程の一部改正を行った。(令和6年4月1日施行)
- ㉑ 表彰規程の一部改正
被表彰者の在職期間に係る算出方法等が明確にされていないことによる疑義が生じていることから、在任年数の算出方法を明確にするため、規程の一部改正を行った。(令和6年4月1日施行)
- ㉒ 嘱託等の就業規程の一部改正
デイサービス事業に従事する嘱託等の職員の中で送迎時に車両を運転する職員に対し、運転業務に対する対価として処遇改善加算金に運転業務に対する手当を追加するため、規程の一部改正を行った。(令和6年4月1日施行)
- ㉓ 職員の雇用に関する取扱内規の廃止
既存の嘱託等の就業規程と内容が重複することから、内規を廃止した。
(令和6年4月1日施行)
- ㉔ 職員給与規程の一部改正

本会が将来的な財務状況の悪化から法人経営の安定を損なう状況にあり、経費の約70%を占める人件費を抑制することで経営改善を図るため、規程の一部改正を行った。(令和6年4月1日施行)

②⑤ 経理規程の一部改正

長泉町在宅福祉総合センターで実施する食堂事業を令和6年3月31日をもって廃止することに伴い、規程の一部改正を行った。(令和6年4月1日施行)

②⑥ 奉仕活動センター設置規程の一部改正

ボランティア活動を支援するボランティアセンターについて、規程と現状との間で齟齬が生じており現状の運用に合わせるため、規程の一部改正を行った。(令和6年4月1日施行)

②⑦ ボランティアの登録に関する規程の制定

ボランティア活動を支援する一環として、人材の発掘や活動場所の提供をしていく際に個々の活動内容等を把握しておくことが事業の推進に有益なことから、新たに規程を制定した。(令和6年4月1日施行)

②⑧ 福祉会館ボランティアルーム管理運営規程の制定

ボランティアルームを福祉会館と一体管理するなかで利用上の遵守事項を定めるため、新たに規程を制定した。(令和6年4月1日施行)

②⑨ 世帯更生資金貸付調査委員会規程の廃止

新たな制度に移行する中で委員会の役割が不要となったことから、規程を廃止した。(令和6年4月1日施行)

③⑩ 地域密着型認知症対応型通所介護事業所運営規程の一部改正

③⑪ 地域密着型認知症対応型介護予防通所介護事業所運営規程の一部改正

利用定員を実態に合わせた定員とするとともに、利便性向上のためにサービス提供時間を延長できるものとし、併せて令和3年度介護報酬改定の際に業務継続計画の策定等が義務化されたこと等に伴い、規程の一部改正を行った。(令和6年4月1日施行)

③⑫ 指定地域密着型通所介護事業所運営規程の一部改正

③⑬ 介護予防・日常生活支援総合事業所運営規程の一部改正

利便性向上のためにサービス提供時間を延長できるものとし、併せて令和3年度介護報酬改定の際に業務継続計画の策定が義務化されたこと等に伴い、規程の一部改正を行った。(令和6年4月1日施行)

③⑭ 居宅介護支援事業所運営規程の一部改正

- ③⑤ 指定訪問介護事業所運営規程の一部改正
- ③⑥ 指定訪問介護事業所第1号訪問事業運営規程の一部改正
- ③⑦ 指定居宅介護事業所居宅介護及び重度訪問介護事業運営規程の一部改正
- ③⑧ 指定居宅介護事業所同行援護事業運営規程の一部改正
- ③⑨ 指定居宅介護事業障害者移動支援事業運営規程の一部改正
- ④⑩ 地域活動支援センター事業運営規程の一部改正

令和3年度介護報酬改定の際に業務継続計画の策定が義務化されたこと等に伴い、規程の一部改正を行った。(令和6年4月1日施行)

3 理事会・評議員会の開催状況

(1) 理事会

第1回理事会 出席者理事10名／定数11名

ア 期 日 6月7日(水)

イ 議 題

i 報告事項

第1号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会評議員の選任報告

第2号議案 会長及び常務理事の職務執行状況の報告

ii 決議事項

第3号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会役員候補者の選任

第4号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦

第5号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会定款の一部改正

第6号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会地域共生社会推進委員会設置要綱の制定

第7号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会役員等の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部改正

第8号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会嘱託等の就業規程の一部改正

第9号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会地域密着型認知症対応型通所介護事業所運営規程の一部改正

第10号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会地域密着型認知症対応型介護予防通所介護事業所運営規程の一部改正

第11号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会指定地域密着型通所介護事業所運営規程の一部改正

第12号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会介護予防・日常生活支援総合事業所運営規程の一部改正

第13号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会指定訪問介護事業所運営規程の一部改正

第14号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会指定訪問介護事業所第1号訪問事業運営規程の一部改正

- 第 15 号議案 令和 4 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会事業報告の承認
- 第 16 号議案 令和 4 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計決算の承認
- 第 17 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会承認社会福祉充実計画の終了
- 第 18 号議案 令和 5 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計補正予算（第 1 回）の認定
- 第 19 号議案 令和 5 年度第 1 回評議員選任・解任委員会の開催
- 第 20 号議案 令和 5 年度定時評議員会の開催

第 2 回理事会 出席者理事 8 名／定数 11 名

ア 期 日 6 月 23 日（金）

イ 議 題

i 報告事項

第 21 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会評議員の選任報告

ii 決議事項

第 22 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会長、副会長の選定

第 23 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会常務理事の選定

第 24 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会顧問の委嘱

第 25 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任

第 3 回理事会 出席者理事 9 名／定数 11 名

ア 期 日 11 月 22 日（水）

イ 議 題

i 報告事項

第 26 号議案 行政機関による立入検査結果及び報告

第 27 号議案 会長及び常務理事の職務執行状況の報告

第 28 号議案 令和 5 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会中間事業報告並びに中間決算に伴う定期監事監査報告

ii 決議事項

第 29 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会職員就業規程の一部改正

第 30 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会嘱託等の就業規程の一部改正

第 31 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会地域福祉活動助成金交付要綱の制定

第 32 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会歳末たすけあい地域福祉活動支援事業助成金交付要綱の制定

第 33 号議案 令和 5 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計補
正予算（第 2 回）の認定

第 34 号議案 令和 5 年度第 1 回臨時評議員会の開催

第 4 回理事会 出席者理事 10 名／定数 11 名

ア 期 日 3 月 15 日（金）

イ 議 題

i 報告事項

第 35 号議案 長泉町災害ボランティアセンターの設置・運営等に関
する協定及び覚書の締結

第 36 号議案 全国社会福祉協議会が推進する“赤い羽根共同募金”助成認
知度アッププロジェクト事業の実施に伴う助成に係る関係要 4
綱の一部改正

ii 決議事項

第 37 号議案 長泉町在宅福祉総合センターで実施する食堂事業の廃止

第 38 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会定款の一部改正

第 39 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会評議員・理事・監
事選任規程の一部改正

第 40 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会表彰規程の一部改正

第 41 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会嘱託等の就業規程
の一部改正

第 42 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会の職員の雇用に関
する取扱内規の廃止

第 43 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会職員給与規程の一部
改正

第 44 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会経理規程の一部改正

第 45 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会奉仕活動センター設置
規程の一部改正

第 46 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会ボランティアの登
録に関する規程の制定

第 47 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会福祉会館ボランティ
アルーム管理運営規程の制定

第 48 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会世帯更生資金貸付
調査委員会規程の廃止

第 49 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会地域密着型認知症
対応型通所介護事業所運営規程の一部改正

第 50 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会地域密着型認知症
対応型介護予防通所介護事業所運営規程の一部改正

第 51 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会指定地域密着型通
所介護事業所運営規程の一部改正

- 第 52 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会介護予防・日常生活支援総合事業所運営規程の一部改正
- 第 53 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会居宅介護支援事業所運営規程の一部改正
- 第 54 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会指定訪問介護事業所運営規程の一部改正
- 第 55 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会指定訪問介護事業所第 1 号訪問事業運営規程の一部改正
- 第 56 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会指定居宅介護事業所居宅介護及び重度訪問介護事業運営規程の一部改正
- 第 57 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会指定居宅介護事業所同行援護事業運営規程の一部改正
- 第 58 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会指定居宅介護事業障害者移動支援事業運営規程の一部改正
- 第 59 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会地域活動支援センター事業運営規程の一部改正
- 第 60 号議案 令和 5 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会補正予算（第 3 回）の認定
- 第 61 号議案 令和 6 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会事業計画
- 第 62 号議案 令和 6 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計予算
- 第 63 号議案 令和 6 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計予算の執行及び契約の締結
- 第 64 号議案 令和 6 年度役員等賠償責任保険の契約
- 第 65 号議案 令和 5 年度第 2 回臨時評議員会の開催

(2) 評議員会

定時評議員会 出席者 12 名／定数 15 名

ア 期 日 6 月 23 日（金）

イ 議 題

i 報告事項

- 第 1 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会地域共生社会推進委員会設置要綱の制定
- 第 2 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会役員等の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部改正
- 第 3 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会嘱託等の就業規程の一部改正
- 第 4 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会地域密着型認知症対応型通所介護事業所運営規程の一部改正
- 第 5 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会地域密着型認知症対応型介護予防通所介護事業所運営規程の一部改正

第 6 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会指定地域密着型通
所介護事業所運営規程の一部改正

第 7 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会介護予防・日常生活
支援総合事業所運営規程の一部改正

第 8 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会指定訪問介護事業
所運営規程の一部改正

第 9 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会指定訪問介護事業
所第 1 号訪問事業運営規程の一部改正

ii 決議事項

第 10 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会役員候補者の選任

第 11 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会定款の一部改正

第 12 号議案 令和 4 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会事業報
告の承認

第 13 号議案 令和 4 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計決算
の承認

第 14 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会承認社会福祉充実
計画の終了

第 15 号議案 令和 5 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計補
正予算（第 1 回）の承認

第 1 回臨時評議員会 出席者 13 名／定数 15 名

ア 期 日 12 月 4 日（月）

イ 議 題

i 報告事項

第 16 号議案 行政機関による立入検査結果及び報告

第 17 号議案 令和 5 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会中間事
業報告並びに中間決算に伴う定期監事監査報告

第 18 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会職員就業規程の一
部改正

第 19 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会嘱託等の就業規程
の一部改正

第 20 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会地域福祉活動助成
金交付要綱の制定

第 21 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会歳末たすけあい地
域福祉活動支援事業助成金交付要綱の制定

ii 決議事項

第 22 号議案 令和 5 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計補
正予算（第 2 回）の承認

第2回臨時評議員会 出席者14名／定数15名

ア 期 日 3月25日（金）

イ 議 題

i 報告事項

第23号議案 長泉町災害ボランティアセンターの管理・運営等に関する協定及び覚書の締結

第24号議案 全国社会福祉協議会が推進する“赤い羽根共同募金”助成認知度アッププロジェクト事業の実施に伴う助成に係る関係要綱の一部改正

第25号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会評議員・理事・監事選任規程の一部改正

第26号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会表彰規程の一部改正

第27号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会嘱託等の就業規程の一部改正

第28号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会の職員の雇用に関する取扱内規の廃止

第29号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会職員給与規程の一部改正

第30号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会経理規程の一部改正

第31号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会奉仕活動センター設置規程の一部改正

第32号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会ボランティアの登録に関する規程の制定

第33号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会福祉会館ボランティアルーム管理運営規程の制定

第34号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会世帯更生資金貸付調査委員会規程の廃止

第35号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会地域密着型認知症対応型通所介護事業所運営規程の一部改正

第36号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会地域密着型認知症対応型介護予防通所介護事業所運営規程の一部改正

第37号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会指定地域密着型通所介護事業所運営規程の一部改正

第38号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会介護予防・日常生活支援総合事業所運営規程の一部改正

第39号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会居宅介護支援事業所運営規程の一部改正

第40号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会指定訪問介護事業

所運営規程の一部改正

第 41 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会指定訪問介護事業
所第 1 号訪問事業運営規程の一部改正

第 42 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会指定居宅介護事業
所居宅介護及び重度訪問介護事業運営規程の一部改正

第 43 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会指定居宅介護事業
所同行援護事業運営規程の一部改正

第 44 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会居宅介護事業所障
害者移動支援事業運営規程の一部改正

第 45 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会地域活動支援セン
ター事業運営規程の一部改正

ii 決議事項

第 46 号議案 長泉町在宅福祉総合センターで実施する食堂事業の廃止

第 47 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会定款の一部改正

第 48 号議案 令和 5 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会補正予
算（第 3 回）の認定

第 49 号議案 令和 6 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会事業計画

第 50 号議案 令和 6 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計予算

(3) 評議員選任・解任委員会

第 1 回委員会 出席者 3 名／定数 3 名

ア 期 日 6 月 7 日（水）

イ 議 題

i 決議事項

第 1 号議案 評議員 2 名の選任

4 監査及び行政機関調査の実施状況

(1) 監事監査

① 令和 4 年度決算監査

ア 期 日 5 月 2 6 日（金）

イ 出席者 監事 3 名、会長、事務局長、職員 1 2 名

② 令和 5 年度中間監査

ア 期 日 1 1 月 1 0 日（金）

イ 出席者 監事 3 名、会長、事務局長、職員 1 3 名

5 苦情解決窓口設置事業

福祉サービスに対する利用者からの苦情や意見・要望を幅広く汲み上げサー
ビスの改善を図る観点から苦情解決窓口を設置し、次の体制で対応を図った。

(1) 組織体制

苦情解決責任者	秋山 勉
苦情受付担当者	尾崎弘人、勝又和佳子
第三者委員	大嶋優子、渡邊知明

(第三者委員任期：令和 5 年 4 月 26 日から令和 7 年 4 月 25 日まで)

(2) 苦情・要望解決の状況

施設名	内 容										計	
	ケア関係		嗜好・選択等		財産管理等		制度・施策等		その他			
	苦情	要望	苦情	要望	苦情	要望	苦情	要望	苦情	要望	苦情	要望
福祉会館	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
いずみの郷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0

(3) 福祉サービスに関する苦情解決取扱状況について

No.	区 分	内 容
1	日 付	令和 6 年 1 月 4 日 (木)
	内 容	女性浴室の管理に対する苦情 (匿名)
	場 所	福社会館女性浴室
	対 応	施設管理担当者が業務上の浴室管理方法について、男女シルバー管理人の業務を確認するとともに、管理対策の徹底を図るよう指導した。また、シルバー管理人が対応できない場合は健康相談員 (女性である准看護師又は看護師) が対応することを確認した。

【事業の成果、課題】

当期の苦情、要望件数は 1 件であった。今期発生した苦情は施設内の浴室で発生した事案であり、施設管理上に関わる職員の対応が求められる。社会福祉協議会が管理する公共施設として、管理に関わる職員の意識向上を常に図りつつ、安全管理対策を徹底していきたい。引き続き、適正な福祉サービスの提供ときめ細かな意見、苦情、要望への対応に努めていきたい。

6 組織体制の整備と職員の資質向上

適正な職員配置による組織運営に努めたほか、研修への参加を通して職員の資質向上を図るとともに、業務に必要な資格の取得について啓発、奨励した。

(1) 年度当初における職員数の比較 (単位：人)

	正 規	嘱 託	パート	短時間 パート	登 録	人事交流		合 計
						派 遣	受入れ	
R6. 4. 1	21	9	3	12	10	1	1	57
R5. 4. 1	19	9	3	16	10	1	2	60
増減	2	0	0	▲4	0	0	▲1	▲3

(2) 会議・研修参加状況

外部研修・会議 P15 から P21 参照

(3) 労働安全衛生

① 職員定期健康診断の実施

ア 期 日 7 月 3 日 (月)

イ 受診者【福 祉 会 館】 1 5 名 (他院受診 4 名)

受診者【いずみの郷】 3 6 名 (他院受診 5 名)

受診者計 5 1 名 (他院受診 9 名)

② 職員ストレスチェックの実施

1 週間の所定労働時間が 3 0 時間以上の職員を対象に実施した。

受検者【福 祉 会 館】 1 3 名

受検者【いずみの郷】 2 3 名

受検者計 3 6 名

③ セルフケア研修の実施

全職員を対象に、職員が日常の仕事や生活から生じる様々なストレスと上手に向き合うことができるスキルを学ぶことを目的として実施した。

ア 期 日 1 0 月 2 6 日 (木) 2 7 日 (金)

イ 参加者 4 0 名

④ 産業医による健康講演会の実施

全職員を対象に、自身の健康への関心とストレスチェック制度について学ぶことを目的に実施した。

ア 期 日 3 月 1 3 日 (水)

イ 参加者 3 8 名

7 社会福祉充実計画の終了

令和4年度決算において社会福祉充実残額が大幅なマイナスとなり、社会福祉充実計画事業の継続が困難となったため静岡県知事の承認を受けて終了した。

- (1) 令和2年度決算 社会福祉充実残額 6,440,000 円
- (2) 計画年度 令和3年度から令和5年度まで
- (3) 令和4年度決算 社会福祉充実残額 △21,990,000 円

8 BCP（業務継続計画）の策定

介護事業者におけるBCPの策定が義務づけられたことや法人として自然災害発生時等の緊急時における基本方針を定め、福祉サービス利用者や災害時要援護者をはじめとする多様な福祉的、生活的な支援を必要とする人々の安全確保や生活支援をあらかじめ計画するBCPをアドバイザー（オフィス園崎 園崎秀治 講師）の助言のもと策定した。（令和6年4月1日策定）

〔BCP策定委員会の開催〕

策定委員…13名（各部門主任+事業担当者）+アドバイザー1名

回数	日付 ☆…アドバイザー参加	目標	内容
第1回	☆9月13日 10:00～	策定のための基礎知識習得	大項目の素案作成 (他市町BCP例示)
第2回	10月11日 10:00～	大項目の決定	各項目構成・見出し作成
第3回	☆11月15日 10:00～	部署内業務洗い出しの確認	全体各項目整理及び各 部門個別の整理 (業務優先度項目除く)
第4回	12月13日 10:00～	各項目内容の確認	各項目の修正
第5回	☆R6 1月17日 10:00～	BCP素案作成 (すべてを集約)	BCP素案作成(全部)
第6回	☆R6 2月14日 10:00～	BCP最終確認	BCP内容修正(最終助言)

〔BCP理解促進研修〕

とき 令和6年3月24日(日) 9:00～12:00

ところ 福祉会館2階研修室

内容 全体BCPの概要説明、各部門BCPの説明

講義「事業継続計画(BCP)を策定する意義」講師 園崎秀治氏

参加者 23名参加

9 その他

後援名義使用申請承諾実績 7件

令和5年度 研修会等参加状況

長泉町社会福祉協議会事務局

◎法人運営事業

日 時	内 容	参加者
5月26日	令和5年度市町社会福祉協議会事務局長会議	職 員 1 名
6月19日	市町社会福祉協議会緊急事務局長会議	事 務 局 長 職 員 1 名
6月25日	ヒューマン・コミュニケーション体験学習会	会 長 ・ 事 務 局 長 職 員 17 名
7月6日 7月7日	第59回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会	職 員 1 名
7月18日	令和5年度ホームレス自立支援等東部地域推進会議	事 務 局 長
8月27日	総合防災訓練	事 務 局 長 職 員 20 名
10月3日	令和5年度社会福祉施設人事・労務管理研修会【WEB】	職 員 1 名
10月10日	令和5年度安全運転管理者等講習	職 員 1 名
10月26日 10月27日	セルフケア研修	事 務 局 長 職 員 39 名
12月1日	裾野地区・沼津地区合同事業主研修会	職 員 1 名
12月6日	令和5年度東部ブロック市町社会福祉協議会連絡会事務局長会議	職 員 1 名
2月8日	令和5年度長泉町障がい者自立支援協議会第2回全体会	職 員 2 名
2月20日	令和5年度市町社会福祉協議会会長等役員セミナー	会 長 ・ 事 務 局 長 職 員 2 名
3月4日～6月28日	令和5年度市町社会福祉協議会決算事務研修会【WEB】	職 員 3 名
3月5日	令和5年度東部ブロック市町社会福祉協議会職員研修会	職 員 1 名
3月13日	産業医による健康講演会	事 務 局 長 職 員 36 名
3月24日	事業継続計画（BCP）理解促進研修	会 長 ・ 事 務 局 長 職 員 21 名

◎地域福祉事業

日 時	内 容	参加者
5月31日	ファシリテーション講座	職 員 1 名
6月1日	静岡県被災者支援コーディネーター説明会【WEB】	職 員 1 名
7月6日 7月7日	第59回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会	職 員 1 名
7月18日	「市町社協と連携した福祉・介護人材マッチング事業」検討委員会	職 員 1 名
7月27日	生活支援コーディネーター養成研修【WEB】	職 員 2 名
8月4日	被災住宅応急復旧研修会	職 員 1 名
8月24日	地域福祉教育担当者会議	職 員 1 名

9月28日	令和5年度地域福祉を考えるブロック会議	職 員	1	名
10月26日	都道府県域ボランティア本部勉強会	職 員	1	名
11月8日	SCスキルアップ研修	職 員	1	名
11月29日	ファシリテーション講座	職 員	1	名
1月31日	協議体研修会・SC情報交換会	職 員	1	名
2月5日	福祉教育WEBセミナー	職 員	2	名
2月8日	東部健康福祉センターひきこもり支援者研修会【WEB】	職 員	1	名
3月6日	災害ボランティア人材育成研修	職 員	1	名
3月24日	災害ボランティアセンター啓発事業	会 長 ・ 事 務 局 長 職 員	21	名

◎総合相談事業

日 時	内 容	参加者
4月13日	長泉町ケア相談会ファシリテーター研修	職 員 1 名
5月8日	市民後見人養成カリキュラム変更研修会【WEB】	職 員 2 名
5月13日	災害ボラ座談会	職 員 2 名
5月19日	静岡県生活困窮者自立支援制度従事者養成研修【WEB】	職 員 2 名
6月29日	意思決定支援に係る実務研修（基礎編）【WEB】	職 員 1 名
7月6日	第59回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会	職 員 1 名
7月24日	令和5年度第1回成年後見業務勉強会	職 員 2 名
9月23日	静岡県相談支援部会相談員ワークショップ2023	職 員 2 名
10月11日	身寄りのない方が亡くなった場合の遺留金の取扱いについて【WEB】	職 員 1 名
10月13日	重層的支援体制整備事業における包括的相談支援事業者連絡会	職 員 1 名
10月16日	コンソーシアム勉強会【WEB】	職 員 3 名
10月18日	長泉町自立支援協議会相談支援部会会議	職 員 2 名
10月19日	意思決定支援に係る実務研修	職 員 1 名
10月23日	成年後見業務勉強会	職 員 2 名
10月23日	重層的支援準備管理会議・事務局会議	職 員 1 名
10月29日	成年後見相談会・公開講座	職 員 3 名
11月13日	コンソーシアム勉強会【WEB】	職 員 3 名
11月21日 11月22日	天竜厚生会就労準備支援事業	職 員 1 名

12月7日	キャッシュレス連携協定に係る説明会【WEB】	職 員	3	名
12月11日	コンソーシアム勉強会【WEB】	職 員	3	名
12月19日	重層的支援体制整備事業における包括的相談支援事業者連絡会	職 員	2	名
12月20日	長泉町自立支援協議会相談支援部会会議	職 員	2	名
12月25日	重層的支援準備管理会議・事務局会議	職 員	2	名
1月15日	コンソーシアム勉強会【WEB】	職 員	3	名
1月15日	生活福祉資金担当者会議【WEB】	職 員	2	名
1月17日	長泉町自立支援協議会相談支援部会会議	職 員	2	名
1月20日	令和5年度社会福祉士ソーシャルワーク実習報告会及び実習指導者意見交換会	職 員	1	名
1月24日	日常生活自立支援事業専門員連絡会	職 員	1	名
1月29日	日本司法支援センター静岡地方事務所地方協議会【WEB】	職 員	1	名
1月29日	成年後見業務勉強会	職 員	2	名
2月5日	困窮コンソーシアム運営委員会【WEB】	職 員	2	名
2月7日	令和5年度静岡県生活困窮者自立相談支援事業市町担当者会議【WEB】	職 員	1	名
2月8日	令和5年度東部健康福祉センターひきこもり支援者研修会【WEB】	職 員	1	名
2月20日	重層的支援体制整備事業研修（引きこもりについて）	職 員	2	名
2月21日	長泉町自立支援協議会相談支援部会会議	職 員	2	名
2月23日	地域生活定着支援センター研修【WEB】	職 員	1	名
2月28日	令和5年度消費者問題研修会【WEB】	職 員	2	名
3月5日	令和5年度東部ブロック市町社会福祉協議会職員研修会	職 員	1	名
3月6日	スタディサポートコンソーシアム運営委員会【WEB】	職 員	2	名
3月18日	困窮コンソーシアム運営委員会【WEB】	職 員	3	名
3月25日	重層的支援準備管理会議・事務局会議	職 員	2	名

◎居宅介護支援事業

日 時	内 容	参加者
4月13日	長泉町介護支援専門員連絡協議会 役員会 長泉町主任介護支援専門員連絡協議会 役員会	職 員 1 名
4月13日	長泉町ケア相談会のためのファシリテーター研修	職 員 1 名
5月8日	長泉町介護支援専門員連絡協議会 役員会	職 員 1 名
5月9日	ステップアップの会	職 員 4 名
5月11日	長泉町介護支援専門員連絡協議会 総会・研修会 長泉町主任介護支援専門員連絡協議会 総会・研修会	職 員 1 名
5月12日	長泉町在宅医療・介護連携推進会議 役員会	職 員 1 名
5月18日	長泉町ケア相談会	職 員 1 名
5月26日	被災高齢者リハビリケアマネジメント研修	職 員 4 名
5月30日	希望のわだち長久保 運営推進会議	職 員 1 名
6月7日	長泉町在宅医療・介護連携推進会議	職 員 1 名
7月11日	ステップアップの会	職 員 4 名
7月12日	長泉町介護支援専門員連絡協議会 役員会	職 員 1 名
7月13日	長泉町介護支援専門員研修	職 員 3 名
7月19日	長泉町介護支援専門員連絡協議会 役員会	職 員 1 名
7月19日	ながいずみホーム 勉強会	職 員 3 名
7月20日	医療介護職員勉強会 岡村記念病院	職 員 4 名
7月28日	希望のわだち長久保 運営推進会議	職 員 1 名
8月8日	長泉町主任介護支援専門員連絡協議会 役員会	職 員 1 名
8月10日	長泉町介護支援専門員連絡協議会 研修会	職 員 4 名
8月22日	わくわくケアの会	職 員 4 名
8月26日	在宅療養における訪問看護 研修 (8/30, 9/2)	職 員 1 名
9月12日	ステップアップの会	職 員 4 名
9月21日	長泉町在宅医療・介護連携推進会議 役員会	職 員 1 名
9月21日	主任介護支援専門員更新研修【WEB】 9/28, 10/6, 10/16, 10/25, 10/30, 11/10, 11/16, 11/28	職 員 1 名
10月4日	長泉町在宅医療・介護連携推進会議	職 員 1 名

10月10日	長泉町介護支援専門員連絡協議会 主任介護支援専門員連絡協議会 役員会	職 員	1	名
10月11日	ながいずみホーム 勉強会	職 員	3	名
10月17日	わくわくケアの会	職 員	4	名
11月13日	長泉町主任介護支援専門員連絡協議会 役員会	職 員	1	名
11月14日	ステップアップの会	職 員	4	名
11月16日	長泉町介護支援専門員連絡協議会 研修会	職 員	2	名
12月6日	長泉町主任介護支援専門員連絡協議会	職 員	1	名
12月13日	長泉町研修 やさしい日本語セミナー	職 員	1	名
1月9日	ステップアップの会	職 員	4	名
1月10日	駿東田方地域強化推進事業研究会 「あなたの街でもリエイブルメント」	職 員	2	名
1月11日	長泉町介護支援専門員連絡協議会 役員会	職 員	1	名
1月12日	長泉町主任介護支援専門員連絡協議会 役員会	職 員	1	名
1月17日	長泉町在宅医療・介護連携推進会議 役員会	職 員	1	名
1月25日	長泉町長寿介護課説明会	職 員	4	名
1月25日	岡村記念病院 顔の見える勉強会 (心不全患者の看取りについて)	職 員	4	名
1月31日	長泉町在宅医療・介護連携推進会議	職 員	1	名
2月14日	三島総合病院 地域包括ケア推進研修会	職 員	1	名
2月20日	わくわくケアの会	職 員	4	名
2月23日	三島総合病院 地域包括ケア推進研修会	職 員	1	名
2月27日	第2層協議体役員等勉強会	職 員	3	名
3月11日	長泉町主任介護支援専門員連絡協議会	職 員	1	名
3月12日	ステップアップの会	職 員	3	名
3月12日	ながいずみホーム 勉強会	職 員	1	名
3月28日	希望のわだち長久保 運営推進会議	職 員	1	名

◎指定通所介護事業

日 時	内 容	参加者
7月3日	5類移行後の施設・在宅におけるコロナ対策【WEB】	職 員 2 名
7月20日	「動き出しは本人から」の介護実践【WEB】	職 員 1 名
10月20日	介護職が「働きたい」と思える職場のつくり方	職 員 1 名
2月29日	食品衛生責任者養成講習会	職 員 1 名
3月25～28日	認知症介護基礎研修eラーニング	職 員 1 名

◎指定認知症対応型通所介護事業

日 時	内 容	参加者
6月10日	認知症の人に寄り添うプロの介護セミナー【WEB】	職 員 1 名
7月28日	福祉職員基礎セミナー～はじめて福祉の仕事に就くあなたへ～【WEB】	職 員 1 名
3月21～22日	認知症対応型サービス事業 管理者研修	職 員 1 名
3月25～28日	認知症介護基礎研修eラーニング	職 員 1 名

◎指定訪問介護事業

日 時	内 容	参加者
4月21日	静岡県ヘルパー連絡協議会理事会監事監査	職 員 1 名
5月11日	静岡県ヘルパー連絡協議会理事会監事報告	職 員 1 名
5月16日	静岡県ヘルパー連絡協議会理事会	職 員 1 名
1月25日	県社協・裾野社協合同事業会議	職 員 2 名

◎居宅介護・重度訪問介護・同行援護事業

日 時	内 容	参加者
5月24日	長泉町障がい者自立支援協議会第1回事業所部会	職 員 1 名
7月11日	長泉町障がい者自立支援協議会第2回事業所部会	職 員 1 名
9月26日	長泉町障がい者自立支援協議会総会	職 員 1 名
11月14日	長泉町障がい者自立支援協議会第3回事業所部会	職 員 1 名
11月22日	虐待防止、権利擁護研修	職 員 2 名
2月8日	長泉町障がい者自立支援協議会全体会	職 員 1 名

◎在宅福祉総合センター事業

日 時	内 容	参加者
7月6日 7月7日	第59回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会	職 員 1 名
8月16日～9月6日	令和5年度社会福祉法人・施設事務職員経理応用講座【WEB】	職 員 1 名
11月6日	令和5年度福祉サービス苦情解決研修会	職 員 1 名
2月16日	令和5年度災害時のリスクマネジメント講座【WEB】	職 員 1 名
3月4日～6月28日	令和5年度市町社会福祉協議会決算事務研修会【WEB】	職 員 2 名

1-2 地域福祉活動事業

令和5年度の地域福祉活動事業は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、「5類」に移行されたこともあり、集合型の研修や事業を昨年度より多く開催した。また、近年災害が各地で発生しているため、災害ボランティアセンターに関する新たな取り組みも行った。

重点項目として、①災害ボランティアセンターに関する取り組み②子どもの居場所づくり立上げ支援③高齢者の外出の機会の創出と検討を掲げ、事業を進めた。

【成果】長泉町、長泉町商工会と災害ボランティアセンターの運営や災害時のボランティア活動に関する協定を結ぶことができ、災害への備えと平時からの繋がりをもつ土壌ができた。また、子どもの居場所づくり講座において、昨年度の受講者有志が企画した活動を実施する課程を通し仲間づくりや立ち上げに必要なことの気づきに繋がった。

なお、高齢者交流会は、地域住民から「パークゴルフをしたいが遠く、バスなどの送迎があればよいのだが」と相談があり行ったが、歩行がおぼつかない方がいても仲間内でサポートしながら一緒に楽しんでいる姿が見られた。

【課題】災害ボランティアセンターの運営や災害時のボランティア活動に関する協定を結んだため、今後は平時からどのように繋がりを持っていくか、が大切である。また、高齢者交流事業やひとり暮らし高齢者交流会において、地域課題も見られるので、地域福祉を推進していく為の協議・検討をしていくことが求められる。

1 地域福祉活動計画における4つの施策の方向の推進と調査研究事業

(1) 施策の方向1「ひとりひとり〈福祉の心を育てる〉」

(1)-1 地域共生の意識を深める取り組みの推進

① 福祉教育実践校事業

児童及び生徒の社会福祉への理解と関心を高め、地域社会を巻き込んだ地域福祉教育を目指し、福祉教育実践校活動を推進した。

指定校	主な活動内容	実施回数	社協打合せ	助成額
長泉小学校	・「ふくしの授業」・手話を学ぶ ・障害者講話、車いす体験 など	7回	1回	100,000円
南小学校	・手話を学ぶ、高齢者の生活、福祉に関する人の想いや工夫を学ぶ、など	6回	2回	100,000円
北小学校	手話講習会、車椅子体験、地域住民との交流活動 など	2回	2回	100,000円
長泉中学校	ボッチャ体験 など	6回	1回	100,000円
北中学校	・視覚障害者講話と車いす、高齢者疑似体験・手話を学ぶ など	14回	2回	99,747円
知徳高等学校	施設実習、校内実習、VR認知症体験、国際福祉機器展見学、日本盲導犬総合センター研修 など	59回	1回	100,000円

社協の関わり：活動の相談、支援

各校がそれぞれ抱える福祉教育における課題について、計画の段階から相談に応じ、事業の実施まできめ細かに支援を行うことで、各校の課題に合わせた福祉教育事業を展開した。

② 夏休み中学生体験学習事業

新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、受入施設の対応が難しいことから本年度も中止とした。

③ 福祉健康まつり開催事業

福祉・健康・介護に関する事業の啓発と施設の紹介を行い、地域ぐるみの福祉意識の高揚、健康づくりの推進、介護保険制度の普及促進を図るため福祉健康まつりを開催した。

また、福祉健康まつりにおいて、長泉町社会福祉協議会および当会40周年記念マスコットキャラクター「いずみん」の啓発と職員の士気を高めるために、胸に「いずみん」がデザインされたユニフォームを整備した。

財源として、みんなで支える地域福祉促進事業費から「いずみんマーク」と「長泉町社会福祉協議会」プリント代にかかる助成を受けるとともに職員互助会から互助会員に対する購入費用の一部が助成されたなか、職員が自己負担で購入することで整備した。職員は購入したユニフォームを執務中にも着用してPRできることとした。



福祉健康まつり セレモニー



会場のようす

- ・開催日 10月15日（日） 9:30（販売開始）～13:00（閉会）
- ・会場 福祉会館及び周辺駐車場
- ・内容 福祉功労者表彰、福祉関係団体による模擬店、作品展示、大抽選会、ステージ出演のほか、福祉会館浴室・大広間の無料開放、おまつり臨時バスの運行
- ・参加団体数 55団体
- ・来場者数 約1,500名 他スタッフ約517名

(1)ー 2 福祉を担う人材の発掘・育成

① ボランティア養成講座の開催

新たにボランティア活動に取り組むきっかけづくりとして、生活支援体制整備事業と連携し、ボランティア担い手養成講座を開催した。

事業名	主な内容	参加者数
ボランティア養成講座（担い手養成講座 北小学校区） (8/8, 8/9 2日間)	1日目 傾聴講座、ボランティアの基本を学ぶ講座 2日目 生活支援体制整備事業等の説明、実践団体の会長から事業実態の説明	延べ34名
ボランティア基礎講座 (1/21)	講義：人と人、人と地域のつながりを考える～地域での助け合い活動～ 紹介：長泉町のボランティア活動	20名

② 傾聴講座

地域福祉活動に役立てるため、傾聴のスキルを学ぶ講座を開催した。

内容	主な感想	参加者数
傾聴講座（2/3）	満足（29）、やや満足（4）、普通（1）、無回答（9）	43名



③ 外出サポーター養成講座

移動に支障がある方を支援するためのスキルを学ぶ講座を開催した。



内容	主な感想	参加者数
歩行に困難がある方の外出支援の心構え、方法 (3/23)	・実技で歩行介助や車の乗り降り支援の仕方が学べて分かりやすかった。 ・実際に町を歩いて歩行介助をしてみたい。	19名

④ 社会福祉法人との連携

法人間連携の枠組みとなる町内8法人による連絡会（ながいずみーる）による地域における公益的な取り組みを進めた。

人材確保や防災など、共通のテーマで地域の福祉基盤の底上げ、広域での地域貢献活動を行っていく。

日程・事業名	主な内容・感想など	参加者
6/27(火) 第1回ながいずみーる 連絡会	福祉キャリア教育(人材確保)事業について 介護人材マッチング事業について 防災対策について(防災倉庫) ながいずみーる設置要綱案について	16名
7/18(火) 福祉・介護人材マッチング事業検討委員会(県社協)	福祉キャリア教育(人材確保)事業について (長泉町、浜松市をモデル地区に選定)	さつき園長 社協職員
8/28(月) 北中学校福祉キャリア教育 (人材確保)事業 【ながいずみーる事業】	町内若手福祉施設職員が中学校で自身の職場を紹介し、中学生の質疑を受けた。 ※アンケート結果抜粋(福祉の仕事について) ・もともと興味があった25人(16%) ・今回をきっかけに興味を持った98人(60%) ・興味がない39人(24%)	中学1年生 167名 施設職員 5法人5名 県社協ほか 計186名
9/12(火) 第2回ながいずみーる 連絡会	福祉キャリア教育(人材確保)事業について 介護人材マッチング事業について 福祉健康まつりにおける啓発について ながいずみーる設置要綱案について	21名
10/4(水)	介護人材マッチング事業打合せ	静香会、道心 社協職員
10/15(日)	福祉健康まつり紹介パネル展示	-
11/14(火)	介護人材マッチング事業従事者フォローアップ	蒼樹会 社協職員
11/27(火)	介護人材マッチング事業事業所フォローアップ	蒼樹会 社協職員
12/12(火)	介護人材マッチング事業フォローアップ	蒼樹会 社協職員
12/15(金) 第3回ながいずみーる 連絡会	福祉健康まつりにおける啓発について(報告) 社協だより1月号掲載内容について 介護人材マッチング事業について 地域公益活動の検討について	17名
2/8(木)	福祉人材マッチング事業面談立ち合い	社協職員
2/16(金)	福祉人材マッチング事業面談立ち合い	静香会 社協職員

2/21(水)	福祉人材マッチング事業体験立ち合い	静香会 社協職員
3/6(水)	清水町・長泉町社会福祉法人連絡会 合同研修会	1法人 社協職員

(1)ー 3 福祉に関する情報提供の充実

① 福祉情報発信力の強化

住民が読みやすく、告知効果の高い広報誌（社協だより）づくりに努め、情報発信力の強化を図った。

また、令和3年5月から社協だよりをリニューアルし、2年が経過することから、住民の意見を聴取するため読者アンケートを実施した。

アンケート結果

実施期間	回収数	主な意見
令和5年7月1日（土） ～8月31日（木）	124部 回収率0.7%	30代～70代以上の年代からの回答が多いなかで情報量が普通、現在のデザインも好評で概ね読みやすいという結果となった。関心のある記事として地域福祉活動（居場所・サロンなど）、地域情報コーナー（講座案内）、子どもの居場所、災害ボランティアが上位を占めた。

社協広報誌『社協だより』 発行部数 17,480 部

5月1日号（No.279）、7月1日号（No.280）、10月1日号（No.281）

1月1日号（No.282）、3月1日号（No.283）

② ホームページ等運営事業

社会福祉法人として公表対象となる書類をホームページ上で公開するほか、各養成講座の開催や町内の福祉活動情報を発信し、福祉活動への理解と積極的な参加を促進した。また、SNS（Facebook、Instagram、LINE）を開設し、直近の福祉情報など発信した。



③ 視覚障がい者情報提供事業

目の不自由な方に対する公共的な情報の提供を行うためボランティアの協力を得て声の広報発行事業などによる情報提供事業を実施した。

声の広報発行事業

音声訳ボランティアによる「声の広報」情報提供事業

- ・『広報ながいずみ』 20回発行
- ・『議会だより』 4回発行
- ・『社協だより』 5回発行

(2) 施策の方向 2 「地域 〈ともに支え合う地域づくり〉」

(2)ー 1 となり近所で支え合う体制づくりの推進

① 小地域福祉活動推進事業

地域住民が地域の福祉課題の発見や解決を主体的に行うことを目標に、区単位の地域支援を行った。

ア 活動区 21区

イ 活動費の助成

・年額 50,000 円/区を上限に必要額

② 小地域福祉活動説明会、研修会

事業名	主な内容・感想など	参加者
5/16 (火) 生涯学習課打合せ	生涯学習課事業と社協事業の情報交換	—
5/24(水) 地域づくり推進事業説明会参加	生涯学習課事業説明会において、小地域事業の説明を実施	—
6/22 (木) 6/23 (金) 小地域福祉活動推進事業連絡会	事業説明、助成金書類記載説明、講義「地域福祉活動とは」、災害パンフレット周知主な感想 ・話の内容がよかった ・福祉活動の理想と現実の差は大きいことが分かった ・他地域の実例（成功例、失敗例）を知りたい	6/22 21名 6/23 14名
9/7 (木) 小地域福祉活動推進事業実践者連絡会（研修）	活動の活性化及び情報交換、交流のために研修会を開催 講義と意見交換を実施 主な感想 ・小地域福祉活動の必要性が理解できた ・各地区の実施内容を知ることができた ・他の地区との交流がしたい ・意見交換の時間が短すぎる	24名

③ サロン活動の支援

ア 用具の貸出

区公民館等で介護予防、認知症予防、閉じこもり解消、交流等の活動（レクリエーションや簡単な体操等）に用具の貸出しを実施

イ 講師派遣

サロン活動のレクリエーション等の講師にシニアクラブ長寿活動推進相談員の協力を得て実施

(2)ー 2 地域福祉活動・ボランティア活動の活性化

① ボランティア団体の支援

ボランティア活動を円滑に進めるため、活動の拠点となる福祉団体室、ボランティアルームの貸出しを行うとともにボランティア団体の連絡調整を行った。

※長泉町ボランティア連絡会加入団体（5月27日現在）

- ・団体数 25 団体（前年度比 2 団体減）
- ・会員数 472 名（前年度比 181 名減）

② ボランティア情報提供事業

ボランティア活動への参加促進を図るため広報啓発活動を行った。

ア 『社協だより』…ボランティア情報

イ ホームページ…ボランティア情報（ボランティアとは・団体紹介）

ウ ボランティア情報館内掲示板…福祉会館いずみの郷連絡通路設置

③ ボランティア活動支援事業

ア ボランティア保険への加入

全社協のボランティア保険へ加入事務手続きを行った。

- ・加入件数：個人 7 件、団体 9 件
- ・加入者数：178 名

その他、全社協の「福祉サービス総合補償」3 件「ボランティア行事用保険」8 件の加入事務手続きを行った。

イ 福祉会館会議室等の利用料減免

登録ボランティア団体に対し、会議室等の利用料減免を行った。

④ ボランティア相談事業

ボランティア入門、活動上の相談、支援の依頼等 19 件の相談及び需要調整を行った。

⑤ 関係機関・団体との連携

ア 長泉町ボランティア連絡会事務局

- ・事業等の運営に対する支援（正副会長会議、理事会の開催等）

イ 福祉施設との連携と情報の共有体制の確立

新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、傾聴ボランティア等の受入休止が続いている。

(2)ー 3 住民同士の連携による地域福祉の推進

① 民生委員・児童委員協議会活動との連携

地域福祉活動を推進するため、民生委員・児童委員との情報共有、連携を図るとともに活動費の支援を行った。

- ・役員会 月 1 回 ・定例会 月 1 回
- ・地域ブロック長会議 計 3 回参加
- ・地域ブロック会議 計 7 回参加

② メッセージの配布活動

ひとり暮らし高齢者の孤立や不安を緩和するため、令和2年度に開始したメッセージを届ける活動を民生委員・児童委員協議会と協働し継続した。町内小中学校にもメッセージの活動について説明し、メッセージが寄せられた。

③ 福祉団体への支援

高齢者や戦没者遺族、障がい者等当事者及び家族、又は支援者によって結成された各福祉団体に対し、それぞれの目的達成に向けた活動が円滑に行われるよう、運営費の助成や連絡調整、研修などの支援を行った。

※事務局設置団体

ア シニアクラブ長泉

健康・友愛・奉仕活動を通じて仲間づくり、健康づくりなど生活を豊かにする楽しい活動、地域を豊かにする社会活動を推進する地縁高齢者団体のシニアクラブ長泉の活動を支援した。昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症予防を施しながら支援を行った。

i 会務運営支援

- ・総会
- ・三役会、理事会、友愛部会、健康部会、プラスワン委員会
- ・上部団体及び単位クラブ連絡調整

ii 健康・文化活動事業支援

- ・第56回グラウンドゴルフ大会（5/18 予選会、5/25 決勝大会）
- ・第31回輪投げ大会（6/29）
- ・ながいずみクリーンアップ作戦（9月15日～21日）
- ・健康ウォーキング事業（各クラブで実施中）
- ・第49回スポーツ大会（新型コロナウイルス感染者増のため中止）
- ・第57回グラウンドゴルフ大会（11/9 予選会、11/16 決勝大会）
- ・第3回フライングディスク大会（12/14）
- ・サークル活動への支援（グラウンドゴルフ、長泉音頭&レクダンス、フラダンス、健康美体操、いきいき気功、学び直し教室、健康ボウリング）※健康マージャン（中止）
- ・健康ストレッチ教室（前期4月～9月、後期10月～3月）

iii 友愛活動その他活動支援

- ・交流研修会（9/5、9/12、10/11、10/26、11/10、11/17、12/6）
- ・広報紙「シニアクラブ長泉だより」の編集発行（9月号・2月号）
役員向け広報「シニアクラブ長泉だより」の発行（毎月）
- ・シニアクラブ長泉ホームページの運用

イ 長泉町遺族会

会務運営にかかる各種連絡等の補助

ウ 長泉町手をつなぐ育成会

- ・会務運営にかかる各種連絡等の補助
- ・団体活動及び行事補助

エ 長泉町ボランティア連絡会（⇒参照(2)－2）

④ 運営費助成団体一覧

(単位：円)

No.	団体名	助成額	備 考
1	シニアクラブ長泉	750,000	事務局支援
2	長泉町遺族会	720,000	事務局支援
3	長泉町身体障害者福社会	650,000	
4	長泉町民生委員・児童委員協議会	475,000	
5	長泉町手をつなぐ育成会	300,000	事務局支援
6	長泉町ひとり親会（旧母子寡婦福祉会）	270,000	
7	長泉町ボランティア連絡会	申請無	
8	長泉町保護司会	50,000	
9	沼津地区更生保護女性会長泉支部	50,000	
10	ながいずみ断酒会	20,000	
合 計		3,285,000	

(2)ー4 地域における交流・居場所づくりの推進

① ひとり親家庭親子社会参加事業

ひとり親家庭を支援するため、『防災お菓子リュック作り』と『防災食講座』を実施した。近年多発する自然災害に備え、親子で防災について楽しく学んでいただく機会とした。



防災お菓子リュック (1/30)



防災食講座 (3/10)

イベント	内容	参加者数
防災お菓子リュック (1/30)	・防災お菓子リュックづくり ・トイレの吸水実験	8家族（19人）
防災食講座 (3/10)	・防災食について講話 ・ローリングストック活用レシピ調理、試食	4家族（9人）

② 小地域福祉活動事業（再掲）

③ ひとり暮らし高齢者交流会事業【新事業】

ひとり暮らし高齢者を孤立させないために、定期的なサロン活動を通し、参加者同士の交流及び、地域との繋がりを持つ機会を提供した。

また各種ボランティア団体の活躍の場として活用を図った。

日付	主な内容	参加者数
6/28（水）	地域包括支援センターによる、健康体操、頭の体操	7名
7/26（水）	地域包括支援センターによる、健康体操、頭の体操	5名
8/29（火）	「簡単スポーツを楽しむ ボッチャ」	7名
9/29（金）	「簡単スポーツを楽しむ ボッチャ」	5名
10/25（水）	「脳もいきいき若返りサロン」	10名
11/28（火）	「脳もいきいき若返りサロン」	7名
12/22（金）	「ハンドベルと樹音演奏会」	8名
1/31（水）	「赤十字奉仕団の防災包装食の体験、防災クイズ」	9名
2/28（水）	「赤十字奉仕団の防災包装食の体験、防災クイズ」	10名
3/22（金）	「ハンドベルと樹音演奏会」	7名

※6月から毎月1回福祉会館で実施

④ 高齢者交流会【新事業】

福祉会館、パークゴルフ場への送迎、パークゴルフの体験、福祉会館での交流を行い、高齢者の外出及び社会参加の機会の提供および健康促進を図った。

日付	参加者数	主な感想
10/25（水）	10名	・公民館まで送迎してもらえるので、交通に不安を感じている人にはとても便利。 ・久しぶりにのんびりと過ごさせてもらった。
1/24（水）	19名	・年齢的に送迎してもらえるからありがたい。 ・寒い時はなかなか外へ出ないので良かった。

(3) 施策の方向3「関係機関・体制〈暮らしを支える包括的な体制づくり〉」

(3)－1 多様化する生活状況に対する支援の充実

① 子どもの居場所づくり講座

支援を必要とする子どもなどが利用できる「子どもの居場所」づくりを進めるため、昨年度の講座受講者を中心に仲間づくりと居場所の企画運営を経験することを目的とした機会をつくり、住民同士による支え合い活動の活性化を図った。

実施月日	内容	主な感想	参加者数
第1回 (8/19)	仲間づくりを目的とした意見交換と、情報共有、模擬企画の検討	・いろいろな方と話し、考え方が広がった。 ・日々を通じて感じていた事を言葉にすることによって、はっきりと形にできた。 ・一緒に活動できる方とのネットワーク構築をしてほしい。	8名

第2回 (9/30)	居場所づくり講座の実践編として、講座参加者に「子どもの居場所づくり」の企画・運営することを提案。参加者は居場所づくりすることに賛同し、アイディアを出し合った。	・いざ実際に居場所を企画・運営するとなると、対象年齢、広報、タイムスケジュール、送迎の有無等、様々なことを想定しながら決めねばならず、とても難しい。	5名
10/26, 11/9, 11/23, 12/7, 12/21, 1/13, 1/25	居場所づくり企画打合せ ・2023年受講者有志によるボランティア企画として話し合いを重ねた		参加 実人数 13名
1/29, 1/30, 2/2	準備 ・物品購入 ・下準備		
2/3 (土)	居場所実施 ・テーマ：節分 ・対象：町内在住小学校 4～6年生 (きょうだいはそれ以下でも可) ・場所：ボランティアルーム ・鬼のお面づくり、節分クイズ、紙芝居、豆まきなど実施		・子ども 16名 ・保護者 2名 ・受講者 有志 (スタッフ) 10名
3/16	振り返り会 ・2/3を振り返り、気づきや今後どうしていくか意見を出し合った。	・当日は時間を気にして心の底から楽しめなかった。子どもともう少し向き合いたかった。 ・参加した子どもは喜んでいった。 ・打合せで話が戻ったり行ったりを繰り返したが、臨機応変に当日は対応できた。この行事は自分の居場所だった。	7名

② 子どもの居場所運営支援

(1) 「てとて食堂」支援

困りごとがある家庭へ食品配布を行うフードバンク「てとて」が、子どもと親との繋がりを深める場として地域食堂「てとて食堂」を月1回ボランティアルームで開催することとなった。引き続き、運営の助言や会場提供、物品貸与等の支援を行なう。

(2) お寺 de 子育てサロン「くりぱー」支援

昨年度の子どもの居場所講座参加者による子育てサロンが7月7日（金）より清鉢寺でスタートしたため、運営助言やチラシ配架など必要な支援を行った。

(3)ー 3 地域福祉を推進する社会福祉協議会の機能強化

① 地域共生社会推進委員会の設置について【新規事業】

地域福祉事業の推進にあたり、地域住民等の意思を事業に反映させ、地域の実情に応じた活動が住民主体で展開される地域共生社会の実現を図るため、地域共生社会推進委員会を設置した。

開催日	内 容	出席委員
10/5(木)	・委員会の役割の共有 ・福祉教育事業について	6名
12/15(金)	・居場所事業(①ひとり暮らし高齢者交流事業、②子どもの居場所立ち上げ事業)について	6名
2/27(火)	・ボランティア活動者育成事業について ・ボランティア活動支援事業について	6名

(3)ー 4 より良質な福祉サービス提供の推進

① 緊急通報システム「福祉電話」設置事業

長泉町に居住するおおむね65歳以上でひとり暮らし高齢者を対象に、福祉電話の設置支援、利用料の助成を行い、緊急時の通報体制の確立を図った。

助成件数	助成額
151 件 (前期 77 後期 74)	290,400 円 (前期 149,820 円 後期 140,580 円)

② 車椅子貸出事業

病院や施設からの一時外泊等、介護保険制度で非該当となる事例に対し介護者の負担軽減を図るため車椅子を貸出した。

また、学校等で福祉教育の教材として使用する場合などに無料で車椅子を貸出した。

- ・貸出期間、自己負担 1ヶ月 480 円（3ヶ月を限度とする）
- ・有料貸出件数 61 件
- ・教材用貸出件数（無料）12 件

(4) 施策の方向 4 「環境〈安心・安全な環境整備〉」

(4)ー 2 防災・減災、感染症対策の推進

① 災害ボランティアセンター運営研修

近年、災害ボランティアセンターに求められる役割や機能が多様化していることから、訓練を有効的に実施するため、関係機関や住民に対して、災害ボランティアセンターを知ってもらうための座談会を開催し、62名の方が参加した。

実施日	内容	主な感想	参加者数
5/13 (土)	災害時のボランティア活動に関する座談会	第1部 座談「災害時の助け合い活動～被災を経験した人たちの声～」 第2部 見学「長泉町で災害が発生した時のボランティア活動をするための流れ」 主な感想 ・被災した人の声はリアリティがあり、大変参考になった ・被災するとどういう心情になってしまうのか理解できた	62名

② 災害ボランティアセンター立上げ訓練

災害ボランティアセンターを運営するための担い手の確保及び運営に必要な人材・機関との連携を図ることを目的に、基礎的な内容の研修を実施した。

実施日	内容	参加者数
8/27(日)	総合防災訓練における勉強会&BCPの策定に向けた勉強会 「災害VC・福祉避難所について」「BCPについて」	33名 (社協職員23名、行政職員10名)
3/24(日)	能登半島地震と災害ボランティアセンターをテーマに、災害ボランティアセンターの機能や役割を知ってもらう目的で実施 報告「災害派遣での活動内容と活動を通じて見えたこと・感じたこと」 講義「今後私たちができること、しなければならないこと」 紹介「災害時の助け合い活動の必要性」	43名 (内社協職員21名)

③ 災害時のボランティア活動に関する協定の締結

- ・長泉町と「長泉町災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定」
- ・長泉町商工会と「災害時におけるボランティア活動等の支援に関する協定」

④ 災害ボランティアセンターパンフレット活用事業（出前講座）

災害ボランティアセンターを運営するための担い手の確保及び円滑なニーズ把握等を行えるよう作成した災害ボランティアセンターのパンフレット等を有効に活用するための出前講座を開催した。

実施日	内 容	対 象	参加者数
9/24（日）	被災することへの 理解、災害時の 助け合い	民生委員・児童委員（Gブロック）	13名
10/16（月）		民生委員・児童委員（高齢者福祉部会）	21名
11/5（日）		三軒家区	25名
3/19（火）		長泉ライオンズクラブ	12名

⑤ ふじのくに災害ボランティアコーディネーター養成講座の実施

災害ボランティアセンターを運営するための担い手の確保及び運営に必要な人材・機関との連携を図ることを目的に実施した。運営にはボランティア団体「災害ボランティアネットワーク長泉」「長泉町赤十字奉仕団」に協力をいただいた。

実施日	内 容	修了者数
12/16(土)	・長泉町における被害想定と災害対策 ・被災することの理解と災害時のボランティア活動 ・災害ボランティアセンターの役割、機能 ・長泉町災害ボランティアコーディネーターについて ・避難所運営について ・避難所運営ゲーム ・平時からの取組みについて ・長泉町赤十字奉仕団による炊き出し	11名

⑥ 災害ボランティアネットワーク長泉との連携

災害ボランティア支援本部を立ち上げる際に連携できるよう、研修計画や調整などを相談しながら行った。

⑦ 災害ボランティアネットワーク長泉へのアンケート調査

創設から15年が経過し、研修や訓練を実施しているが、参加者が固定化し、団体活動や役割に対する意識の統一がない中、会員の意識を確認し、今後の活動やあり方等について検討するため、アンケート調査を実施した。

項目	結果
災害ボランティアコーディネーター養成研修の受講	ある 75.0% ない 25.0%
被災地でのボランティア活動	ある 33.3% ない 66.7%
災害ボランティアセンターへの協力	できる 54.2% できない 20.8% わからない 25.0%
発災時の活動（複数回答可）	災害ボランティアセンターの運営 50.0% 被災地でのボランティア 25.0% 避難所での運営支援 45.8% 活動は難しい 20.8%

※アンケート回答者24名/43名 回答率55.8%

⑧ 防災講座等

実施日	内容	参加
4/27（木）	ライオンズクラブとの情報交換	ライオンズクラブ役員
5/26（金）	地域防災会議	地域防災課主催会議
9/16（土） 9/20（水） 9/21（木）	職員研修（災害時の対応について）	

⑨ 県内災害ボランティアセンター運営への支援

沼津市の災害ボランティアセンターへ県社協の要請を受け、職員を派遣した。

【沼津市社協水害支援】

派遣先	期間	派遣人数（延べ）	主な支援内容
沼津市災害ボランティアセンター	6/10、11、18	1名	ボランティアセンター立上調整

⑩ 能登半島地震に対するボランティア活動支援

実施日	内 容	活動場所
2/6（火）	北中学校から募金活動相談があり、北中生徒、民生委員・児童委員協議会、社協合同で街頭募金実施	ウエルディ長泉

(4)－3 防犯対策の充実

① 新入学児童祝品贈呈事業

小学校新入学児童へ黄色い帽子の贈呈を行い、児童への交通安全を祈念するとともに、交通事故被害を未然に防ぐため、地域での見守り支援の促進を図った。

1－3 福祉総合相談事業

施策の方向 3 関係機関・体制＜暮らしを支える包括的な体制づくり＞
基本施策 1 多様化する生活状況に対する支援の充実

1 福祉総合相談事業

(1) 福祉総合相談事業

町民の身近な相談機関として、福祉に関することをはじめ、様々な悩みや心配事などの相談に応じ、福祉ニーズとサービスを結ぶ支援体制として、民生委員・児童委員や他機関との連携を図りながら、総合的に相談業務を行った。また、相談専用電話を設置し、匿名も含め電話での相談に応じた。

- ① 開設時間 月曜日～金曜日 午前 8 時 15 分～午後 5 時
- ② 開設場所 福祉会館 3 階相談室
- ③ 相談件数 21 件
- ④ 相談人数 13 人（男性 5 人、女性 8 人）
- ⑤ 相談方法 21 件（来所 7 件、電話 14 件、訪問 0 件）

相 談 内 容 ・ 処 理 状 況					
区 分	解決	再来	民生委員	機関紹介	計
生 計	1	2	2	1	6
人 権 ・ 法 律	6	4		1	11
そ の 他	1	1		2	4
合 計	8	7	2	4	21

(2) 生活困窮者の社会参加支援

ボランティア団体の活動や社協主催事業（福祉健康まつりや講座）開催時のボランティア活動について、相談者からの希望により活動に繋ぐ支援を実施した。社協職員だけでなく他の支援者等と繋がることにより、自身の存在価値の確認や生活意欲の向上につながるきっかけとなった。

2 日常生活自立支援事業

本事業は、認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等のうち、判断能力が不十分な人が地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行うものである。

平成 24 年度から、相談受付や利用契約の締結と利用者支援を行っている。

- (1) 職員配置：専門員 3 人（兼務）、生活支援員 4 人※令和 6 年 3 月末現在

(2) 利用者数

区 分	令和 5 年度			
	認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	その他
継 続	1	2	1	3
新 規	1	0	1	0
解 約	3	1	0	2
小 計	5	3	2	5
令和 6 年 3 月末利用者数	7 人（うち生活保護受給者：4 人）			
増減内訳	新規契約 2 解約 6			

※解約理由 親族管理に移行：2 件、成年後見制度移行：3 件
本人死亡：1 件

(3) 相談援助件数

(単位：件)

内 容	本事業の利用に関するもの				その他	合 計
対象者 事項	認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	そ の 他		
問合せ件数	4	0	1	2	0	7
初回相談件数	4	0	1	2		7
相談援助件数	140	136	16	223		525
合 計	148	136	18	237	0	539

3 生活困窮者自立支援法に基づく事業

(1) 生活困窮者自立相談支援事業

平成 27 年度から静岡県の委託を受け、生活困窮者自立相談支援事業を実施した。

① 相談件数 755 件

② 相談実人数 124 人（新規相談者：81 人、継続相談者：43 人）
うち、本人未特定 5 人

③ プラン策定前支援終了件数 28 件

④ プラン確認実人数（再プランを含む件数） 30 件
プラン評価し支援終了者 12 人

⑤ 支援調整会議：毎月開催

今年度から生活困窮者自立支援コンソーシアム専門職として、法テラスが参加するようになった。

専門職相談件数：法律に関すること 12 件

精神に関すること 1 件

傷病手当、障害年金に関すること 1 件

(2) 家計改善支援事業

令和 4 年度から本会にて実施することになり支援を実施している。

・支援実績 今年度新規受付 5 件、昨年度からの継続件数 1 件

(3) 一時生活支援事業

住居のない生活困窮者に対して、一定期間内に限り衣食住の提供を行う。実施令和元年度から静岡県からの委託を受けており支援を実施した。

・支援実績 1 件 7 泊利用

(4) 住居確保給付金

離職等により経済的に困窮し住居を喪失した又は住居を喪失するおそれがある方に、一定期間家賃相当額を給付する制度利用支援を実施した。

・支援実績 2 件

(5) ふじのくに型学びの心育成支援事業（学習支援事業）

今年度も福祉会館での実施となっている。副次的効果として、関係者等と顔の見える関係を築くことができた。また利用世帯には食糧支援を行った。

(6) その他

① 「フードバンクふじのくに」のフードドライブへの協力

・夏季フードドライブ（8 月 1 日～8 月 31 日）寄贈食品重量：15 キロ

・冬季フードドライブ（1 月 4 日～1 月 31 日）寄贈食品重量：15 キロ

・フードバンク活用実績 3 件

② ふじのくに生活困窮者自立支援基金利用

・支援実績 8 件（実人数 7 名：就労支度金給付事業）

4 生活福祉資金貸付事業

静岡県社会福祉協議会が実施主体となり、低所得世帯に対する生活福祉資金の貸付の窓口として、長泉町における相談受付、償還事務を行った。

(1) 貸付実績 3 件

	申請件数	貸付決定件数	貸付総額（円）
福祉資金（福祉費）	1	1	117,000
緊急小口資金	2	2	170,000
合 計	3	3	287,000

5 重層的支援体制整備事業

介護、障がい、子育て、生活困窮の分野に分かれていた既存の相談支援や地域づくり支援の取組みを活かし、分野別の支援体制では対応しきれないような「複雑化・複合化した支援ニーズ」に対応する包括的な支援体制を構築するため、令和6年度からの事業実施に向けた準備を進める中において、先行実施する事業の一部を受託する。

(1) 参加支援事業

引きこもり等の狭間のニーズを抱えた人々の居場所の設立・運営、地域の社会や支援メニューとのマッチング、その後のフォローアップや新たな社会資源の創出に取り組む支援を実施した。

【支援実績】 3件

ケースNo.	活動内容
1	福祉団体の活動にボランティアとして参加する。
2	社会福祉協議会主催事業にボランティアとして参加する。
3	

(2) アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

支援者と直接かつ継続的に関わるための信頼関係の構築や支援者との繋がり作りに向けた支援、対象者発見のための支援関係機関とのネットワークや地域住民との繋がりを構築するとともに、地域の実情等に係る情報を幅広く収集するよう努めた。

① 誰ひとり取り残されない福祉の仕組みづくり事業を受託

要配慮者へのアウトリーチ型支援体制を構築するため、福祉関係者の協力を得て、引きこもり実態把握調査と実施手法の検証を行うこと目的として、静岡県から委託を受けて事業を実施した。

- ・調査依頼に関する説明会 8団体に説明会実施
- ・100件の回答あり。うち47件が「対象者あり」と回答。

【事業の成果と課題】

1 総合的な相談対応

今年度も初回相談時から生活福祉資金の貸付や生活困窮者自立支援事業に類する相談が多く、総合相談としての対応件数は減少している。

しかしながら、酒害相談や困窮者ではない浪費に関する相談等、制度の間の課題を抱えている方の相談が目立っている。

2 日常生活自立支援事業

今年度は病的な浪費傾向がある方、若年者の制度利用の相談があった。所内で適した制度について協議し、成年後見制度に移行する案件について

ては関係機関と調整を重ね、適切な制度利用に繋がるよう支援を実施している。

3 生活困窮者自立支援事業

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世帯の相談が継続して寄せられた。また、多重債務に陥った世帯の相談も複数寄せられた。家計改善支援相談に繋ぎ、困窮状態に陥った要因を可視化することで収支バランスの改善を図る等、世帯更生のきっかけづくりに努めている。

4 生活福祉資金貸付事業

失業や疾病により困窮状態に陥った世帯の貸付相談も寄せられ、本則に則った貸付申請の支援を行ったが、所得要件や償還計画作成困難等で申請が難しいケースもあった。所得要件の確認基準が、前年度所得で算定するなど貸付が必要な状態となった時の状態と合致せず、現在の生活課題にそぐわないため申請できない案件が見受けられた。

5 重層的支援体制整備事業

社協内で横断的な連携を図り事業の推進を図るため、相談部門と地域福祉部門の打ち合わせを定期的に行い、社会資源の開発を含め多角的な意見交換の機会を持つように努めた。

引きこもり実態調査については、対象者へのアウトリーチ支援を進めていく。

1-4 共同募金助成金事業

施策の方向2 地域くともに支え合う地域づくり>
基本施策3 住民同士の連携による地域福祉の推進

1 一般募金助成金事業

「つながりをたやさない社会づくり～あなたは一人じゃない～」を全国共通助成テーマに、多様なニーズに即した助成を行う。

昨年度寄せられた共同募金を財源とする一般助成金事業と当年度歳末たすけあい募金を財源とする歳末たすけあい見舞金事業を実施した。

項 目		期 日	内 容	助成額
1 福祉育成援助活動費				3,521,738 円
1	福祉教育実践校事業	通年事業	指定校助成金	539,747 円
2	小地域福祉活動推進事業	通年事業	活動助成金	750,000 円
3	第2層協議体運営費交付事業	通年事業	活動助成金	450,000 円
4	災害ボランティア啓発事業 (パンフレット制作)	通年事業	事業費	99,330 円
5	福祉健康まつり開催事業	10月15日	事業費	921,559 円
6	生活困窮者等食糧支援パック	通年事業	事業費	70,000 円
7	ひとり親家庭親子交流事業 (防災お菓子リュック講座他)	1月20日 3月10日	事業費	43,475 円
8	新入学児童見守り支援事業 (黄色帽子贈呈)	3月	事業費	300,000 円
9	生活困窮世帯入学祝い金贈呈事業	3月	事業費	147,128 円
10	広報発行事業(共同募金あり がとう特集号)	3月1日号	事業費	200,499 円
2 老人福祉活動費				604,000 円
1	シニアクラブスポーツ大会 参加賞	9月21日 (中止)	事業費	148,500 円
2	緊急通報システム「福祉電話」設置者助成事業	通年事業	助成金	280,000 円
3	地域メッセージ事業 (一人暮らし高齢者等)	通年事業	事業費	44,123 円
4	ひとり暮らし高齢者交流事業	通年事業	事業費	55,011 円
5	福祉健康まつり開催事業	10月15日	事業費	76,366 円

(2) 費用按分事業内訳

(単位：円)

項 目		サービス区分 1 (共募助成金)	サービス区分 2 (地域福祉活動)	事業費 (1 + 2)
1	福祉教育実践校事業	539,747	60,000	599,747
2	小地域福祉活動推進事業	750,000	270,000	1,020,000
3	福祉健康まつり開催事業	997,925	2,367,315	3,365,240
4	ひとり親家庭親子交流事業 (防災お菓子リュック講座他)	43,475	6,180	49,655
5	新入学児童見守り支援事業 (黄色帽子贈呈)	300,000	55,740	355,740
6	広報発行事業 (共同募金あ りがとう特集号)	200,499	203,500	403,999
7	緊急通報システム「福祉電 話」設置者助成事業	280,000	10,730	290,730
8	ひとり暮らし高齢者交流事業	55,011	3,450	58,461

2 歳末たすけあい見舞金事業

「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに民生委員の協力を得て見舞金を贈呈、または助成金を支給した。

対 象	・令和5年9月1日に長泉町に住民票を有する世帯全員の住民税が非課税世帯もしくは準要保護世帯、または非課税世帯のうち児童扶養手当受給世帯 ・地域で暮らす誰もが安心して年末の時期を過ごすことができるように町内で身近な福祉課題に取り組んでいる団体
-----	---

【対象者分類別一覧】

(単位：円)

対象者	助成金支出	事務費支出	対象者別合計額
高齢者	340,000	0	340,000
障害児・者	240,000	0	240,000
児童・青少年	1,122,000	0	1,122,000
課題を抱える人	136,000	51,803	187,803
合計	1,838,000	51,803	1,889,803

【対象者件数別一覧】

(単位：件)

対象者	見舞金	助成金	合計
高齢者	34	0	34
障害児・者	18	2	20
児童・青少年	54	1	55

課題を抱える人	7	0	7
合計	113	3	116

3 災害緊急助成事業

災害ボランティア活動用の資機材を格納する防災倉庫の整備費用の助成を受け、地域づくりセンターMOKU OHANA 敷地内に設置するとともに併せて地域の防災力の向上を図るため関係団体と覚書を締結した。

○災害ボランティア活動用資機材に関する覚書締結式

日 時 令和6年1月29日 午後1時30分～

場 所 地域づくりセンターモク・オハナ 2階地域交流室

項 目	期 日	内 容	助成額
1 災害ボランティア活動用機器整備事業			498,991 円
1 防災倉庫設置	1 2 月	収納庫 1 台	299,000 円
2 災害ボランティア活動用資機材	1 2 月	一輪車 スコップ他	199,991 円



4 市町社協機器整備事業

福祉サービスを必要とする支援対象者に対して行う福祉活動用の車両購入費用の一部について助成を受けた。

項 目	期 日	内 容	事業費
1 在宅支援用車両整備事業			1,852,425 円
1 車両本体価格（付属品含）	1 2 月	ダイハツ タント 1 台	1,791,525 円 助成金 750,000 円
2 代行・法定費用・軽自動車 税・自賠責保険料	1 2 月	登録手続・検査 登録・自賠責他	60,900 円



【事業の成果と課題】

一般募金助成金事業は、コロナ禍も明けたことから、地域福祉活動事業のうち共同募金を財源とする事業を昨年度の募金実績により定められた計画に基づき展開することができている。各事業の詳細は別途事業報告に記載している。

歳末たすけあい募金助成事業は、申請基準日を見直し、贈呈世帯の要件確認について行政協力をいただき、必要な方に必要な支援が届くように努めた。

また、歳末に地域福祉活動を行う団体に対する活動費助成は、社協だよりを通じて周知したところ申請が3件あり活動費用の一部を助成している。

なお、今年度実施した災害ボランティア活動用の資機材を格納する防災倉庫の設置により、今後、覚書を取り交わした関係団体と協働して防災訓練を実施していくこととしている。

1-5 手話通訳者派遣事業（長泉町受託事業）

(3) 施策の方向3「関係機関・体制〈暮らしを支える包括的な体制づくり〉」

(3)-4 より良質な福祉サービス提供の推進

1 事業目的

聴覚障がい者及び音声又は言語機能障がい者並びに聴覚障がい者等と意思の疎通を図る必要のある者が手話通訳を必要とする場合に手話通訳者を派遣し、意思伝達の手段を確保することにより、聴覚障がい者等の福祉の増進及び社会参加の促進に資することを目的とする。

2 事業内容

(1) 運営状況

- ・登録手話通訳者 4名（町3名、広域登録1名）
- ・手話通訳等報酬 1時間 3,180円 交通費 1kmあたり 40円支給

(2) 手話通訳者派遣事業実績

月	件数	通 訳 者 派 遣 数							項 目 別 件 数									
		時間帯		登録者数		派遣場所		派遣時間合計 手話登録者	生命健康	官公署	職業	教 育	教養自己	住 居	地域生活	団体活動	その他	
		昼	夜	町内	町外	町内	町外											
		件数	件数	人数	人数	件数	件数											時間
4月	19	16	3	20	6	8	11	61：40	7	0	1	1	0	0	1	7	2	
5月	16	13	3	14	8	7	9	40：25	5	0	0	0	0	0	1	8	2	
6月	13	13	0	11	3	4	9	29：35	7	1	0	0	0	0	2	3	0	
7月	21	20	1	14	12	6	15	55：09	8	0	0	0	1	0	1	7	4	
8月	10	8	2	12	3	4	6	24：20	6	0	0	0	0	0	0	3	1	
9月	6	5	1	2	9	3	3	20：30	2	0	0	0	0	0	0	3	1	
10月	13	12	1	6	12	10	3	34：15	6	0	0	0	0	0	0	6	1	
11月	12	12	0	7	8	5	7	30：25	5	0	0	0	0	0	0	7	0	
12月	17	16	1	9	20	14	3	62：05	6	0	0	0	1	0	0	7	3	
1月	19	14	5	11	15	15	4	44：00	7	0	0	0	0	0	8	2	2	
2月	12	12	0	3	14	5	7	42：45	7	0	0	0	2	0	3	0	0	
3月	12	12	0	5	9	9	3	24：40	7	0	1	0	0	0	2	1	1	
R5 合計	170	153	17	114	119	90	80	469：49	73	1	2	1	4	0	18	54	17	
R4 合計	178	164	14	89	154	74	104	475：55	79	1	12	6	6	2	2	59	11	

(3) 手話通訳者派遣事業利用実人数

個人：12人

団体：5団体

(4) 手話奉仕員養成講座「入門編」

聴覚障がい者の生活及び関連する福祉制度について理解と認識を深め、手話で日常会話を行うのに必要な手話技術や手話表現技術の習得を図った。

開催日 5月31日～10月25日 毎週水曜19時～21時

18講座・3講義 他補講2回

参加者 14名受講（出席率80%以上で修了証交付）

修了者 13名（町内12名）



手話奉仕員養成講座

(5) 夏休み子ども手話教室

聞こえない人の言葉「手話」の学習を通じて聴覚障がい者との交流と理解を深めることを目的に、低学年クラスと高学年クラスに分かれ2日間開催した。

開催日 7月29日（土）～7月30日（日）2日間

参加者 31名（子ども21名、保護者10名）

講師/協力 身体障害者福祉会ろうあ部、登録手話通訳者会、
手話サークルふくろうの会



子ども手話教室

(6) 手話体験教室（一般向け）

手話の普及のために、一般向けに手話を体験するための教室を開催した。

開催日 2月21日（水）19時～21時

参加者 16名

講師/協力 身体障害者福祉会ろうあ部、登録手話通訳者会、手話サークルふくろうの会



手話体験教室

【事業の成果と課題】

手話奉仕員養成講座は令和5年度に入門編を行い、その修了者を対象に令和6年度に基礎編を行う。

手話奉仕員養成講座「入門編」と手話体験講座の受講者アンケートからは、“耳の聞こえない方の不安など少しだが知ることができた” “聴覚障害者がどのような日常のことで困っているのか、私たちがどのようなことが寄り添えるのか、今後使える知識を得た” など、講座を通し手話の技術面だけでなく、聴覚障害の理解に繋がっていることが把握できた。

昨今、日本各地で自然災害が発生し、住民が避難所で生活する状況が多くみられる。手話通訳者の育成と同時に、聴覚障害のある人に対する理解者が増えるように事業を展開していく必要性を感じる。

1-6 小口資金貸付事業

施策の方向 3 関係機関・体制＜暮らしを支える包括的な体制づくり＞
 基本施策 1 多様化する生活状況に対する支援の充実

1 事業目的

長泉町に居住し、かつ住所登録のある低所得者で、緊急又は不時の出費を要する者に対し、生活の自立と福祉の増進を図るため、民生委員と連携して生活支援及び小口資金の貸付けを行う。

2 貸付状況

申 込 状 況		決 定 状 況		申込に対する決定率	
件数	金 額	件数	金 額	件数(%)	金 額 (%)
6 件	132,000 円	6 件	132,000 円	100	100

3 償還状況

項目	貸 付 金 額		償 還 金 額		不納欠損額		貸付残高 ①-②-③
	件数	金 額①	件数	金 額②	件数	金 額③	金 額
当年度分	6 件	132,000 円	5 件	51,000 円	0 件	0 円	81,000 円
過年度分残高	8 件	169,500 円	4 件	82,000 円	0 件	0 円	87,500 円
合計	14 件	301,500 円	9 件	133,000 円	0 件	0 円	168,500 円

- ・ 償還終了件数：6 件
- ・ 償 還 残 件 数：8 件（当年度貸付分：4 件 過年度貸付分：4 件）

【事業の成果と課題】

生活保護費支給までのつなぎや、急な出費による一時的な家計の圧迫などによる困窮状態により食料の確保が難しくなった世帯に対し、フードバンク利用のための送料の貸付を 3 件行った。

今後も、貸付事業単独ではなく、町福祉保険課や生活困窮者自立支援事業と連携し無理なく生活の立直しにつながるよう対応していく。

過年度貸付世帯の 4 件については償還が計画通りにできていないため、行政や民生委員・児童委員と連携して負担のない償還を促すことに努める。

1－7 生活支援体制整備事業（長泉町受託事業）

施策の方向 2 地域〈ともに支え合う地域づくり〉

基本施策 3 住民同士の連携による地域福祉の推進

1 事業目的

日常生活上の支援が必要な高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために、必要となる多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、長泉町からの受託事業として第1層及び第2層生活支援コーディネーターを配置し、支援ニーズの抽出や担い手の養成、サービスの開発を行う。

2 事業内容

(1) 第1層(町内全体)を対象とした活動

① 第1層協議体会議開催(6/7、8/24、10/17、12/8、2/13)

内容：第2層協議体進捗状況共有、生活支援サービス事業への助言等

② 第1層協議体勉強会開催（8/24、参加者：14名）

内容：第1層協議会の役割と意義

③ 生活支援体制整備事業における協議体の運営状況等に係る調査

内容：他市町(34市町)の実施状況調査

④ ボランティア活動基礎講座(1/21 参加者：24名)

内容：地域での助け合い活動について

⑤ 担い手フォローアップ研修(12/22 参加者：15名)

内容：マッチングコーディネーターの技術向上



(2) 第2層（小学校区）を対象とした活動

① 協議体会議への参加

ア 長泉小学校区（12回 福祉会館等）

内容：生活支援サービス事業運営について

イ 南小学校区（5回 さつき園）

内容：居場所（サロン）実施について

ウ 北小学校区（12回 モクオハナ）

内容：生活支援サービス、移動支援について

② 協議体勉強会

ア 移動支援編(6/29 参加者:26名)

内容: 地域で支え合う移動の理解や全国の事例紹介、意見交換等

イ 本事業理解促進編(2/27)

③ 協議体会長会議(6回)

内容: 各協議体の進捗状況の共有、実施方法のすり合わせ等

④ サービスの担い手養成講座

北小校区(8/8、9、9/15 参加者:40名)

内容: ボランティア・市民活動、生活支援体制整備事業概要 他

南小校区(12/17 参加者:10名)

内容: グランツ区へ生活支援体制整備事業概要 他



(3) 情報発信

各協議体、SC などの間の情報共有、活動の見える化を行うことで共通認識を図ることを目的に、発行(6月、11月)。

【事業の成果と課題】

北小校区では、新しいサービスとして移動支援(買い物支援)がモデル的に可動した。要支援者になると運動の機会や友人等への訪問が減っている割合が高く、体操等の運動の機会も少なくなっている。ボランティアの協力による移動支援サービスが地域にあることで高齢者の社会参加や生きがいにつながっている。ボランティアによる活動そのものが見守り活動や介護予防の一助を担い、地域づくりに寄与している。長小校区では買い物や病院への同行支援を検討しており、南小校区ではテーマ型の居場所が複数回開催されるなど、ボランティア活動の発展が見受けられる。

高齢者が住み慣れたまちで安心して暮らすことができるよう、居場所等の支援について更に介護予防の観点を入れた展開を意識し、引き続きボランティアや関係機関とのネットワークを構築しながら、団体活動の後方支援を行っていきたい。

1－8 権利擁護推進事業

施策の方向 3 関係機関・体制＜暮らしを支える包括的な体制づくり＞
基本施策 5 権利擁護の推進

1 事業目的

この事業は、今後需要の増加が見込まれる成年後見制度を安定して利用できるよう、市民後見人を育成し、制度の普及啓発を行うことで成年後見制度の充実を図ることを目的とする。

また、本会が法人後見の実施機関として体制を構築し、判断能力が衰えても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で生活することができるよう、成年後見制度の利用等により権利擁護支援を行うことを目的とする。

2 事業概要

(1) 市民後見推進事業（長泉町受託事業）

沼津市、裾野市、清水町、長泉町の2市2町の枠組みにより、広報啓発事業、市民後見人養成研修、市民後見人名簿登録者に対するフォローアップ講習等を行う。

(2) 法人後見事業

本会の単独事業として静岡家庭裁判所の審判を得て受任する。

(3) 成年後見中核機関事業（長泉町受託事業）

成年後見制度に関する相談事業を行う。

3 事業内容

(1) 市民後見推進事業

① 啓発事業 10月29日（日）

「高齢者・障がい者のための相談会・公開講座」を開催

講座 63名、相談会 15組が参加

② 市民後見人名簿登録者（4名）を対象に毎月1回連絡会を開催

③ フォローアップ研修 3月11日（月）2名参加

「戸籍の読み方と成年後見」をテーマに事例を交えて戸籍の読み方を確認

(2) 法人後見事業

今年度は5件受任（うち審判確定後逝去）、現在11件受任している。

市民後見人との複数選任は2件となっている。

【受任件数】

	後見	保佐	補助	合計
R5 年度末	3	4	4	11

(3) 成年後見中核機関事業

相談対応として、実人数 6 人、延べ相談件数 42 件の相談に対応した。うち、制度利用支援（本人申立による成年後見制度利用申立）として、1 人の申立書作成支援を行っている。

また、10 月 29 日に開催された「高齢者・障がい者のための相談会・公開講座」にも参画し、専門職相談へのつなぎや成年後見制度に関する普及啓発に務めた。

【事業の成果と課題】

昨年度に引き続き、今年度も市民後見人名簿登録者 1 名が法人後見との複数選任で保佐人に選任された。権限分掌のない市民後見人との複数選任はあまりケースがなく、申立支援機関、静岡家庭裁判所、本会、市民後見人と協議しながら支援の仕組みを構築し、新たな形で地域での暮らしを支援することができている。その他の市民後見人候補者も順調に支援の経験を積み重ねている。

日常生活自立支援事業から成年後見制度への移行ケースも増えてきている。利用者が安心できる支援の継続性を担保するためにも、今後も継続的にフォローアップ研修を行い、市民後見人として選任されるよう担い手の育成に力を入れていきたい。

また、10 月に開催された講座アンケートの集計から、成年後見制度や、相続、遺言、任意後見制度への関心の高さ、継続的な啓発の機会の必要性が伺えた。専門職（弁護士、司法書士等）相談についても、開催の調整を進めていきたい。

2 老人福祉センター

2-1 福祉会館事業（町指定管理事業）

施策の方向3 関係機関・体制＜暮らしを支える包括的な体制づくり＞
基本施策1 多様化する生活状況に対する支援の充実

1 事業目的

福祉会館は、老人福祉センター、地域福祉センターの機能を持った複合施設として、住民の健康と福祉の増進並びに住民相互の交流を図るため、健康相談事業、機能回復訓練、文化教養の向上の場として活用され、健康で助けあう生きがいのある町づくりの拠点となるべく隣接する在宅福祉総合センターと連携し、良質な福祉サービスを提供する。

2 管理業務の状況

(1) 清掃・環境衛生業務（令和5年度～令和6年度の長期継続契約）

- ① 日常清掃（毎日、火曜日・年末年始を除く※ただし、月曜祝日等で営業した翌日は実施）
 - ② 定期清掃 床清掃（年6回） 浴室天井壁面清掃（年4回）
 - ③ 窓ガラス清掃、屋上ドレン口ゴミ取り（年4回）
 - ④ 衛生管理 害虫防除（年2回）空気環境測定（年4回）
 - ⑤ 濾過系統配管消毒業務（週1回）レジオネラ菌防止対策の高濃度塩素消毒
- (2) 管理員派遣業務（毎日） シルバー人材センターからの管理員派遣
- (3) エレベータ点検（月1回） エレベータ機器の保守点検（法定点検含）
- (4) 夜間警備業務（毎日） 夜間閉館時の機械警備業務
- (5) 浴槽設備点検（年2回）、 各浴槽設備、ろ過機等点検、24時間対応貯湯槽清掃消毒業務（年1回） レジオネラ菌防止対策の清掃消毒
- (6) 給水設備点検 給水設備（貯水槽、給水ポンプ）の保守点検（隔月1回）、飲料水・給湯水検査（年2回）・貯水槽清掃滅菌作業（年1回）
- (7) 浴槽水水質検査 レジオネラ属菌検査 気泡風呂（2ヶ月／奇数月）一般項目検査（年2回）※夜間営業延長期間（7月～12月）は毎月検査し、浴槽の安全性を確認した。
- (8) 電気保安業務（隔月1回） 機械室内変圧器等、変電・発電設備点検
- (9) トイレ消臭機器保守（隔月1回）大広間前トイレ消臭機器保守管理
- (10) ボイラー設備点検（年4回） 昇温・給湯ボイラー機器の保守点検
- (11) 消防設備点検（年2回） 自動火災報知設備・屋内消火栓・誘導灯及び誘導標識・非常放送設備・消火器の点検
- (12) 自動ドア点検（年2回） 機器の保守点検
- (13) 特殊建築物・建設設備定期報告（年1回） 建築基準法第12条第3項に基づく定期報告書作成業務
- (14) 地下タンク貯蔵所漏洩検査（年1回）重油用地下タンクの微加圧検査

3 施設利用状況

(1) 長泉町福祉会館利用状況

(単位:人)

月	開館 日数	会議室			浴室・大広間								合 計 (1) + (2)	一日 平均	健 康 相 談
		有料	無料	小計 (1)	有料				無料			小計(2)			
					大人 一般	高齢者 障害者	短時間	小人	シニア クラブ	大人	その他				
4 月	26	329	1,312	1,641	74	502	1,088	43	95	0	0	1,802	3,443	132	315
5 月	26	370	1,311	1,681	77	544	1,228	48	90	0	0	1,987	3,668	141	326
6 月	26	497	1,246	1,743	98	514	1,164	77	80	7	0	1,940	3,683	142	349
7 月	27	332	1,487	1,819	111	680	1,599	71	47	5	0	2,513	4,332	160	275
8 月	27	736	1,068	1,804	113	691	1,643	95	88	0	1	2,631	4,435	164	239
9 月	27	238	1,308	1,546	93	617	1,699	89	82	5	0	2,585	4,131	153	267
10月	25	461	1,460	1,921	77	688	1,695	56	125	10	7	2,658	4,579	183	269
11月	26	359	1,336	1,695	72	702	1,908	48	76	7	0	2,813	4,508	173	270
12月	23	365	1,321	1,686	68	655	1,808	48	87	8	0	2,674	4,360	190	266
1 月	24	354	1,076	1,430	75	588	1,358	37	77	9	50	2,194	3,624	151	309
2月	26	387	1,316	1,703	107	684	1,479	32	87	10	3	2,402	4,105	158	331
3月	27	812	1,511	2,323	103	786	1,412	43	87	7	15	2,453	4,776	177	350
合計	310	5,240	15,752	20,992	1,068	7,651	18,081	687	1,021	68	76	28,652	49,644	160	3,566
R4年度	309	4,028	12,421	16,449	1,264	6,798	15,862	439	677	6	5	25,051	41,500	134	3,346
増減	1	1,212	3,331	4,543	△196	853	2,219	248	344	62	71	3,601	8,144	26	220

(2) 会議室等利用状況

(単位:件数)

月	会議室等利用件数											
	有料				無料				合計			
	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計
4月	13	9	18	40	34	43	19	96	47	52	37	136
5月	10	13	24	47	31	39	23	93	41	52	47	140
6月	14	13	23	50	32	42	22	96	46	55	45	146
7月	7	13	19	39	37	44	24	105	44	57	43	144
8月	16	12	16	44	18	37	21	76	34	49	37	120
9月	7	9	20	36	32	43	27	102	39	52	47	138
10月	13	11	21	45	38	36	31	105	51	47	52	150
11月	9	7	23	39	37	42	23	102	46	49	46	141
12月	4	14	17	35	34	36	19	89	38	50	36	124
1月	11	17	19	47	25	32	13	70	36	49	32	117
2月	13	18	15	46	32	37	24	93	45	55	39	139
3月	20	21	21	62	28	36	25	89	48	57	46	151
合計	137	157	236	530	378	467	271	1,116	515	624	507	1,646
R4 年度	100	155	135	390	366	385	212	963	466	540	347	1,353
増減	37	2	101	140	12	82	59	153	49	84	160	293

(単位:人)

月	会議室等利用人数											
	有料				無料				合計			
	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計
4月	128	85	116	329	523	518	271	1,312	651	603	387	1,641
5月	80	120	170	370	462	526	323	1,311	542	646	493	1,681
6月	222	151	124	497	417	476	353	1,246	639	627	477	1,743
7月	68	160	104	332	504	547	436	1,487	572	707	540	1,819
8月	507	135	94	736	261	481	326	1,068	768	616	420	1,804
9月	44	84	110	238	415	487	406	1,308	459	571	516	1,546
10月	188	121	152	461	517	512	431	1,460	705	633	583	1,921
11月	96	88	175	359	525	429	382	1,336	621	517	557	1,695
12月	82	170	113	365	589	460	272	1,321	671	630	385	1,686
1月	91	158	105	354	437	434	205	1,076	528	592	310	1,430
2月	100	157	130	387	455	456	405	1,316	555	613	535	1,703
3月	288	326	198	812	532	477	502	1,511	820	803	700	2,323
合計	1,894	1,755	1,591	5,240	5,637	5,803	4,312	15,752	7,531	7,558	5,903	20,992
R4 年度	1,440	1,783	805	4,028	4,916	4,730	2,775	12,421	6,356	6,513	3,580	16,449
増減	454	△28	786	1,212	721	1,073	1,537	3,331	1,175	1,045	2,323	4,543

(3) 浴室、会議室等使用料収入

(単位：円)

月	券売機	回数券	小計	会議室	会議室 利用料還付	その他 公衆電話他	合 計	R4 年度	増減
4月	359,300	135,000	494,300	60,800	0	90	555,190	544,090	11,100
5月	403,700	150,000	553,700	49,100	0	240	603,040	571,650	31,390
6月	391,800	147,000	538,800	37,100	0	130	576,030	464,910	111,120
7月	540,000	167,000	707,000	32,500	0	80	739,580	693,170	46,410
8月	549,700	188,000	737,700	27,300	0	110	765,110	631,980	133,130
9月	559,600	171,000	730,600	85,900	0	20	816,520	683,110	133,410
10月	553,300	188,000	741,300	29,000	△12,300	30	758,030	618,380	139,650
11月	619,400	162,000	781,400	12,100	0	10	793,510	719,750	73,760
12月	585,300	172,000	757,300	53,800	0	130	811,230	737,850	73,380
1月	449,800	154,000	603,800	28,700	△6,400	90	626,190	667,410	△41,220
2月	498,200	175,000	673,200	43,900	0	80	717,180	617,030	100,150
3月	503,200	218,000	721,200	46,000	△1,200	30	766,030	628,760	137,270
合計	6,013,300	2,027,000	8,040,300	506,200	△19,900	1,040	8,527,640	7,578,090	949,550

(4) 健康器具利用料収入

(単位：円)

月	カラオケ	セレブレックス	マッサージ	合計	R4 年度	増減
4月	32,300	16,400	16,500	65,200	34,600	30,600
5月	36,200	17,800	19,900	73,900	33,500	40,400
6月	24,600	14,700	20,500	59,800	50,500	9,300
7月	20,600	11,400	28,000	60,000	61,300	△1,300
8月	31,700	14,000	25,600	71,300	65,500	5,800
9月	33,300	13,600	22,700	69,600	82,300	△12,700
10月	33,200	13,400	24,800	71,400	74,400	△3,000
11月	21,700	14,400	26,200	62,300	74,000	△11,700
12月	37,200	12,800	25,100	75,100	62,800	12,300
1月	28,900	14,900	19,300	63,100	64,100	△1,000
2月	34,800	16,600	24,600	76,000	65,900	10,100
3月	22,300	15,400	22,800	60,500	68,200	△7,700
合計	356,800	175,400	276,000	808,200	737,100	71,100

4 光熱水費使用状況等

(1) 水道光熱及び燃料使用量

月	水道光熱量		燃料使用量
	電気 (単位: kwh)	上下水道 (単位: m ³)	A重油 (単位: L)
4月	13,634		4,000
5月	11,826	1,893	4,000
6月	12,458		6,000
7月	28,883	1,797	4,000
8月	24,252		4,000
9月	20,914	2,198	6,000
10月	15,442		6,000
11月	15,429	2,471	6,000
12月	17,803		6,000
1月	18,303	2,085	4,000
2月	18,162		6,000
3月	18,259	1,707	6,000
合計	215,365	12,151	62,000
R4 合計	208,507	12,169	64,000
増減	6,858	△18	△2,000

(2) 水道光熱費・燃料費支出

(単位: 円)

月	水道光熱費					燃料費	合計	R4 年度	増減
	電気	LP ガス	炭酸ガス	水道	計	A 重油			
4月	463,570	8,728	66,096		538,394	523,600	1,061,994	978,156	70,838
5月	488,738	9,111	99,144	451,930	1,048,923	519,200	1,568,123	1,591,413	△35,290
6月	505,233	9,111	82,620		596,964	785,400	1,382,364	917,357	465,007
7月	1,101,395	6,894	99,144	428,860	1,636,293	541,200	2,177,493	1,526,838	650,655
8月	903,946	8,748	165,240		1,077,934	550,000	1,627,934	1,476,628	151,306
9月	836,353	8,748	115,668	523,020	1,483,789	844,800	2,328,589	1,791,812	536,777
10月	614,708	7,257	132,192		754,157	792,000	1,546,157	1,414,725	131,432
11月	614,345	8,385	132,192	587,520	1,342,442	792,000	2,134,442	1,860,730	273,712
12月	740,820	8,748	99,144		848,712	805,200	1,653,912	1,472,258	181,654
1月	754,683	8,748	99,144	496,660	1,359,235	536,800	1,896,035	1,942,278	△46,243
2月	750,068	9,474	99,144		858,686	792,000	1,650,686	1,462,390	188,296
3月	693,559	9,474	66,096	406,960	1,176,089	805,200	1,981,289	1,776,960	204,329
合計	8,467,418	103,426	1,255,824	2,894,950	12,721,618	8,287,400	21,009,018	18,211,545	2,797,473
R4 年度	5,810,806	92,769	1,283,040	2,902,730	10,036,345	8,175,200			
増減	2,656,612	10,657	-27,216	-7,780	2,685,273	112,200			

5 修繕等実施状況（契約価格 10 万円以上）

（単位：円）

No.	項 目	金 額	内 容
1	手前浴室大浴槽床面改修工事	748,000	浴槽床面タイルの亀裂剥がれ
2	エレベータ扉改修工事	198,000	豪雨雨漏りによる電気系統の故障
3	炭酸ガスボンベ加温器改修工事	181,170	加温器の老朽化
4	1 階集会室空調機修繕	132,000	空調室外機の老朽化

6 安全対策

(1) 福祉会館施設利用者の傷害補償

施設利用者を対象とした傷害保険に加入した。

(2) 防災訓練の実施

区 分	実施日	参加者	内 容
危険物安全週間	6 月 19 日(月)	12 名	水消火器訓練・避難誘導経路確認・119 番通報訓練
救急訓練	7 月 10 日(月)	12 名 (シルバー管理員、健康相談員)	夜間営業に合わせて町消防署にて救急救命訓練を実施。
地震防災訓練	8 月 27 日(日)	34 名	町防災訓練と連携し、施設避難誘導、福祉避難所・災害ボランティア・BCP 研修

(3) 富士山南東消防本部立入検査（福祉会館並びにボランティアルーム）

5 月 30 日（火） 改善を要する事項は無し。

7 その他

(1) 浴室・大広間の営業時間の延長について（平成 25 年度から実施）

勤労者や家族、若年層等の利用促進を図るため、営業時間を延長した。

① 実施期間 7 月 1 日（金）から 12 月 27 日（火）まで

6 ヶ月間（月曜日を除く、但し月曜祝日は実施）

② 延長時間 17 時 00 分から 20 時 30 分まで（3 時間 30 分）

③ 利用結果（単位：人）

月	営業日	利用者数	1 日 平均利用者	昨年度 1 日平均利用者	増減
7 月	27	827	30	27	3
8 月	27	978	36	28	8
9 月	26	895	34	24	10
10 月	25	804	32	23	9
11 月	26	871	33	28	5
12 月	23	813	35	33	2
合計	154	5,188	33	27	6

(単位：人)

時間帯内訳	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
16:30～17:00	127	159	133	123	149	142	833
17:00～17:30	153	145	134	136	162	137	867
17:30～18:00	146	136	119	145	147	130	823
18:00～18:30	143	174	170	126	137	141	891
18:30～19:00	126	161	145	144	142	130	848
19:00～19:30	132	203	194	130	134	133	926
合 計	827	978	895	804	871	813	5,188

夜間売上内訳	大人券 500 円	高齢者 障害者 300 円	子供 100 円	短時間 300 円	合計
7月利用人数	9	148	44	626	827
7月売上	4,500	44,400	4,400	187,800	241,100
8月利用人数	1	152	77	748	978
8月売上	500	45,600	7,700	224,400	278,200
9月利用人数	1	115	56	723	895
9月売上	500	34,500	5,600	216,900	257,500
10月利用人数	0	137	38	629	804
10月売上	0	41,100	3,800	188,700	233,600
11月利用人数	0	137	32	702	871
11月売上	0	41,100	3,200	210,600	254,900
12月利用人数	0	135	36	642	813
12月売上	0	40,500	3,600	192,600	236,700
7月～12月利用合計	11	824	283	4,070	5,188
売上合計	5,500	247,200	28,300	1,221,000	1,502,000

(2) 施設の無料開放について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施。(県民の日、敬老の日)

(3) 高齢者援護活動の推進

① ふれあい推進事業の充実

今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため卓球は引き続き中止。

事業内容	内 容
カラオケ・舞踊	1 日 3 0 曲～6 0 曲程度
卓球	中止
囲碁、将棋、オセロ	用具の貸し出し(随時)

② シニア趣味サークルへの支援

シニア世代の健康の増進と交流による仲間づくりを促進するため、事務的支援を行った。(感染症予防のため利用制限有)

サークル名	活 動 日	時間	会 場
ダンスサークル	毎週土曜日	午後	1 階遊戯室
将棋サークル	第 1 ・ 3 火曜日	午後	2 階教養娯楽室 1
囲碁サークル	毎週水・土曜日	午前又は午後	2 階研修室又は 2 階教養娯楽室 1

③ 福社会館利用高齢者に対する送迎の実施

従来、高齢者相互の交流と健康の維持・増進を図り、福社会館の利用を促進するため、町内の単位シニアクラブを対象としたマイクロバスによる送迎を行っている。

【事業の成果と課題】

高齢者福祉施設として地域諸団体と連携するとともに福祉関係団体等、特に高齢者団体にとって利用しやすい施設経営に努めた。

施設の指定管理者として、地域のシニア世代、その他の関係福祉団体等の意向を踏まえつつ、期待される施設機能を十分に活かした経営の企画立案・調整を図っていききたい。また、未だ不安定な社会情勢の影響により光熱水費をはじめ、全般的に物価上昇の煽りを受けたが町行政による光熱水費の補填や施設経費の削減に努めることによって収支の均衡を図ることができた。

新型コロナウイルスが収束傾向にあり福社会館利用者も従来の実績に回復していくなかにおいても、引き続き安心・安全にご利用いただけるよう、行政等と協議しながら施設運営に努め、適切な利用に繋げていきたい。

3 介護サービス事業

3-1 居宅介護支援事業

1 事業概要

要介護、要支援、事業対象者と認定された利用者に対し、心身の状況や希望、生活課題を考慮して居宅サービス計画を作成し、本人及び家族の支援を行う。

介護サービスが適切かつ効果的に提供されるよう医療と連携を図り、居宅サービス事業所等の連絡調整、並びに居宅サービスの給付管理を実施する。

2 事業内容

(1) 各種申請に関すること

① 要介護・要支援認定（新規、更新、区分変更）、② 福祉サービスの利用申請 ③ その他、必要な制度利用の申請

(2) ケアプランの作成に関すること

① 居宅サービス計画の作成及び計画後の管理、② 利用者状況の把握
③ サービスの実施状況の把握、④ 関係機関との連絡調整

(3) 地域包括ケアシステムの実現とサービスの質の向上について

① 地域で支え合う仕組みづくりが推進されるよう各種会議や研修会へ出席
② 事業所内での定例の会議や勉強会の開催

3 利用状況

(1) 居宅サービス計画作成件数

件数 月	居宅介護支援件数						介護予防支援・総合事業件数				月間 合計
	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	要支援 1	要支援 2	総合 事業	計	
4月	15	16	18	8	3	60	5	23	2	30	90
5月	17	15	18	9	2	61	7	22	2	31	92
6月	17	14	22	8	1	62	7	22	3	32	94
7月	18	15	20	6	1	60	9	24	4	37	97
8月	17	16	20	6	1	60	11	25	4	40	100
9月	18	16	19	6	1	60	13	28	5	46	106
10月	17	17	20	7	1	62	15	29	5	49	111
11月	18	18	19	8	2	65	14	29	5	48	113
12月	19	19	20	8	2	68	15	32	7	54	122
1月	19	17	22	7	2	67	15	31	6	52	119
2月	20	17	22	6	3	68	15	34	6	55	123
3月	22	14	21	7	3	67	17	31	6	54	121
R5 合計	217	194	241	86	22	760	143	330	55	528	1,288
R4 合計	254	230	266	90	36	876	85	271	28	384	1,260
増減	△37	△36	△25	△4	△14	△116	58	59	27	144	28

(2) 加算・減算の状況

	加 算								減 算	
	初回 (介護)	初回 (支援)	退院 退所	入院	通院時 連携加算	ターミナ ルケア	特事 Ⅲ	特事 Ⅱ	運営	集中
4 月	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
5 月	2	2	1	3	0	0	0	0	0	0
6 月	3	2	0	2	0	0	0	0	0	0
7 月	2	4	1	0	0	0	0	0	0	0
8 月	2	3	0	1	1	0	0	0	0	0
9 月	2	7	0	0	3	0	0	0	0	0
10 月	2	5	0	2	0	0	0	0	0	0
11 月	3	0	0	1	2	0	0	0	0	0
12 月	4	3	0	1	0	0	0	0	0	0
1 月	2	1	0	2	1	0	0	0	0	0
2 月	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0
3 月	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0
R5 合計	32	29	6	14	7	0	0	0	0	0
R4 合計	16	—	7	18	7	0	0	0	0	0
増 減	16	29	△1	△4	0	0	0	0	0	0

4 居宅介護支援実績

	介護実績	支援実績	新規受入 (介護)	新規受入 (支援)	終了者
R5 合計	7 6 0	5 2 8	3 2	2 9	1 6
R4 合計	8 7 6	3 8 4	1 6	0	2 9
増 減	△ 1 1 6	1 4 4	1 6	2 9	△ 1 3

5 研修・会議

- (1) 所内ケアマネ定例会議：毎週 1 回
- (2) わくわくケア～の会：5 回（6/20、8/22、10/17、12/19、2/20）
- (3) 長泉町ケア相談会：2 回（5/18、1/18）
- (4) 長泉町介護支援専門員連絡協議会、長泉町介護支援専門員連絡協議会
役員会、長泉町主任介護支援専門員連絡協議会、長泉町主任介護支援
専門員連絡協議会役員会
- (5) その他、業務遂行に必要な会議、スキルアップ研修
（事例検討会・看護小規模多機能型居宅介護支援事業所運営推進会議、
在宅医療介護連携推進会議等）

【事業の成果と課題】

4 月に新規職員を迎えたことで新規ご利用者の受け入れ枠が広がり、ご依頼を
いただいたケースについては全て担当させていただく事ができた。

しかしながら、予防の件数が圧倒的に増加しており、介護の件数は減少となった。

職員のスキルアップについては積極的に研修や勉強会に参加し、所内でも振り返りや共有することで事業所全体での底上げにつなげることができたと思う。

ケース内容も多様化している状況があり、高齢者以外の制度の知識の習得や支援技術、地域とのつながりがより一層求められている。専門性を向上させていくためにも、業務の効率化を図って時間を確保していく事が課題となっている。

3-2 指定通所介護事業

1 事業概要

利用者の心身の特性を踏まえて、利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、また利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びにその家族の身体的及び精神的負担の軽減を図るために必要な日常生活上の世話及び機能訓練等の介護、その他必要な支援を行う。利用者すべてが町民であり、地域密着型通所介護事業所として地域福祉の充実に取り組んでいる。

事業理念「かけがえのない あなたと共に」～楽しく・笑顔・よりそい～

定員 指定地域密着型通所介護、介護予防通所介護 18人/日

2 職員の概要

職 種	常勤	非常勤	常勤換算
管 理 者	0	1	0.8
生活相談員	1	1	1.2
介護職員	1	4	3.5
看護職員	0	3	1.2
機能訓練指導員(兼務)	(0)	(3)	(1.2)

3 営業時間

営 業 日	月曜日～土曜日 12月29日から1月3日までを除く
営業時間	午前9時15分～午後4時25分まで(送迎時間は除く)

4 事業内容

- ① 生活指導 ② 日常生活動作訓練 ③ 介護サービス ④ 送迎サービス
⑤ 健康状態の確認 ⑥ 給食サービス ⑦ 入浴サービス ⑧ 介護方法の指導
⑨ 個別機能訓練



花見散策



季節行事

5 監査及び行政機関調査の実施状況
なし

6 利用状況

	開所 日数	登録者数		利用延人数		主 な 行 事 等
		通介	予通	通介	予通	
4 月	25	25	3	219	18	
5 月	27	24	4	233	30	
6 月	26	25	4	255	28	
7 月	26	25	4	280	27	納涼祭
8 月	27	25	4	289	30	
9 月	26	24	6	293	30	敬朗会
10 月	26	24	7	277	30	
11 月	26	26	7	251	48	
12 月	23	26	7	204	44	クリスマス会
1 月	24	23	6	202	36	
2 月	25	22	6	209	38	節分
3 月	26	23	7	227	52	ひな祭り
R5 期関 係	307	292	65	2,939	411	
R4 期間 計	307	331	32	3,053	208	
増 減	0	△39	33	△114	203	

7 令和5年度の取り組み

- (1) 季節感のある居室等の装飾（新緑、花、海、お月見、七夕、花火）
- (2) 敬朗会（利用者プレゼント作成）
- (3) 干支（小物作成）

8 内部研修状況

開 催 日	内 容	参加人数
12 月 23 日	実践介護技術支援事業講座 「入浴介助」	14 名
12 月 23 日	認知症介護研修会	14 名

外部研修状況

開 催 日	内 容	参加人数
10 月 19 日	介護保険サービス提供事業者説明会	1 名
3 月 24 日	長泉町社会福祉協議会事業継続計画理解 促進研修・災害ボランティアセンター啓 発事業	4 名

9 ボランティアの協力、活動支援ボランティア受入状況

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、各種ボランティアの受け入れを休止していたが2月よりハーモニカボランティア月1回受け入れ開始。

10 介護実習の受け入れ状況

コロナウイルスの状況を踏まえ実習を行った。

実習生受け入れ

受入期間	実習団体	実習内容	人 数
4 月 17 日～4 月 28 日	知徳高校3年	介護体験実習	4 名
6 月 12 日～6 月 16 日	知徳高校2年	介護体験実習	4 名
9 月 11 日～9 月 15 日	知徳高校1年	介護体験実習	4 名
R 5 期間計			12 名

11 防災訓練の実施

(1) 総合防災訓練における勉強会、BCPの策定に向けた勉強会

実施日：8月27日（日）

参加者：いずみの郷デイサービス 正規職員

内 容：火元責任者による安全確認。消火設備点検・確認、発災時の避難誘導手順の確認及び避難経路の確認、被災状況確認の徹底、危険物の保管確認。

BCPの策定を目指すための導入の勉強会

(2) いずみの郷における災害時避難誘導訓練

実施日：11月30日（木）13時30分から14時30分まで

参加者：職員16名、利用者一般型10名 認知症対応型5名

内 容：火災時における避難経路確認・誘導訓練・通報訓練

AED使用訓練

【事業の成果と課題】

今期の新規の利用者は13名、利用終了者は9名であった。全体での延べ者数は、前年同期比で89名増加している。

事業理念「かけがえのない あなたと共に」～楽しく・笑顔・よりそい～を合言葉に、地域密着型通所介護事業の利用者へのサービス提供向上とともに、職員一人ひとりがかけがえのない仲間であることを意識して、チームケア向上を図った。

昨年に引き続き飛沫予防のパーテーションの設置、手洗い、手指消毒の徹底などの感染症対策を徹底し、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し、生活リハビリを主とする体操に力を入れ、外出行事の方も実施した。今後も不活

発な生活による日常生活動作の低下を予防し、体操やレクリエーションの充実を図っていく。

経営面の課題としては、前年同比で利用者は増加しているが、介護保険収益確保を目指し、新規利用者取得に向け努力していく。

3-3 指定認知症対応型通所介護事業

1 事業概要

市町村が事業者の指定及び監督を行う地域密着型サービスが創設され、現在、いずみの郷認知症対応型通所介護事業所は町内唯一の指定を受けている。その役割使命を認識し、従来より実践されている認知症高齢者への通所介護サービスおよび介護者への支援をもって、在宅生活の継続支援を行った。

事業理念「あなたらしく 私らしく」～心地よい場所・安心できる時間～

定 員 認知症対応型通所介護、介護予防認知症対応型通所介護 12人/日

2 職員の概要

職 種	常勤	非常勤	常勤換算
管 理 者	1	-	0.2
生活相談員	1	1	1.2
介 護 職 員	1	2	2.2
看 護 職 員	0	3	1.2
機能訓練指導員(兼務)	(1)	(1)	(1.2)

3 営業時間

営 業 日	月曜日～土曜日 12月29日から1月3日までを除く
営業時間	午前9時15分～午後4時25分まで(送迎時間は除く)

4 事業内容

- ① 生活指導 ② 日常生活動作訓練 ③ 介護サービス ④ 送迎サービス
⑤ 健康状態の確認 ⑥ 給食サービス ⑦ 入浴サービス ⑧ 介護方法の指導
⑨ 個別機能訓練



レクリエーション



個別活動

5 監査及び行政機関調査の実施状況

実地指導 なし

6 利用状況

	開所日数	登録者数	利用延人数	主 な 行 事 等
4 月	25	9	79	
5 月	27	9	92	
6 月	26	10	87	
7 月	26	8	87	納涼祭
8 月	27	8	73	
9 月	26	8	80	敬朗会
10 月	26	9	88	
11 月	26	8	87	
12 月	23	8	77	クリスマス会 外出行事
1 月	24	8	78	
2 月	25	8	66	節分
3 月	26	7	50	ひな祭り
R5 期間計	307	100	944	
R4 期間計	306	115	1,163	
増減	+1	△15	△219	

※指定介護予防認知症対応型通所介護は利用実績なし

7 令和5年度の取り組み

- (1) 季節感のある居室装飾（桜、新緑、あじさい、こいのぼり、海、祭り）
- (2) 裁縫（雑巾、袋作り・小物入れ）

8 内部研修状況、ボランティアの協力、福祉教育、介護実習受け入れ状況、防災訓練の実施内容に関しては、指定通所介護事業に記載の通り。

【事業の成果と課題】

今期の新規利用者様4名、利用終了者は6名であった。全体での延べ利用者数は前年同期比で減少している。

利用者ひとりひとりの認知症の進行がみられており個別対応が求められる場面がより多くみられるようになった。また、新規利用者様は大人数制の他事業所では受け入れが難しい方ばかりであり、個別対応を行いながら利用者様が安心してお過ごしになれる環境作りを行った。

事業理念「あなたらしく 私らしく」～心地よい場所・安心できる時間～を職員全員が念頭におき、デイサービスの場が利用者様の居場所のひとつとなる

よう取り組んだ。また、定期的にカンファレンスを行い認知症ケアの質の向上、ケアの見直しを図り、よりよいサービス提供が出来るよう努めている。

今後は新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、地域密着型デイサービスとして、地域ボランティアの受け入れや家族会の開催、地域住民の方への認知症への理解を発信していくことを検討していく。

3-4 指定訪問介護事業

1 事業概要

利用者の尊厳を保持し、要介護者等の要介護状態の軽減若しくは悪化の防止又は要介護状態となることの予防に資することを目的として心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行った。

2 事業内容

(1) 身体介護に関すること

- ① 入浴の介助、② 排泄の介助、③ 食事の介助、④ 衣類着脱の介助
⑤ 清拭、⑥ その他必要な身体介護

(2) 生活援助に関すること

- ① 調理、② 衣類の洗濯、補修、③ 住居等の掃除、整理整頓
④ 生活必需品の買物、⑤ 関係機関との連絡、⑥ その他必要な家事

(3) 混合型（① 身体介護、② 生活援助）

3 監査及び行政機関調査の実施状況

なし

4 利用状況

利用者数・派遣延べ時間

(単位：人、時間)

	訪問介護					総合事業		総合計	
	利用者数 (人)	身体 (時間)	混合 (時間)	生活 (時間)	計 (時間)	利用者数 (人)	派遣時間 (時間)	総利用者数 (人)	総派遣時間 (時間)
4 月	15	54.0	140.5	20.0	214.5	14	76.0	29	290.5
5 月	16	52.5	157.5	22.0	232.0	14	78.0	30	310.0
6 月	16	45.5	122.0	22.0	189.5	13	76.0	29	265.5
7 月	18	76.5	237.0	23.5	337.0	13	75.0	31	412.0
8 月	17	65.5	180.0	18.0	263.5	14	82.0	31	345.5
9 月	18	91.5	281.0	21.0	393.5	14	79.0	32	472.5
10 月	17	75.5	156.0	12.0	243.5	11	59.0	28	302.5
11 月	18	74.0	192.5	22.0	288.5	11	59.0	29	347.5
12 月	18	89.5	213.0	23.0	325.5	11	59.0	29	384.5
1 月	18	90.0	209.0	14.0	313.0	10	52.0	28	365.0
2 月	19	72.5	140.0	20.5	233.0	11	57.0	30	290.0
3 月	18	81.0	159.0	16.5	256.5	11	66.0	29	322.5
R5 期間計	208	868.0	2,187.5	234.5	3,290	147	818.0	355	4,108.0
R4 期間計	225	1,065.0	1,808	336.5	3,209.5	163	937.0	388	4,146.5
増 減	△17	△197	379.5	△102	80.5	△16	△119	△33	△38.5

5 ヘルパー内部研修状況

開催日	内 容	参加人数
4月15日	・利用者情報、支援変更、情報共有、モニタリング集計 ・災害ボランティア（町内での活動・社協の役割）	15名
5月20日	・利用者情報、支援変更、連絡事項、モニタリング集計 ・BCP業務継続計画（災害編）について	14名
6月17日	・利用者情報、支援変更、情報共有、モニタリング集計 ・認知症基本法、認知症介護について	11名
7月22日	・利用者情報、支援変更、情報共有、モニタリング集計 ・新規事業（養育支援訪問事業）について	13名
8月19日	・オンライン研修（利用者情報、支援変更、情報共有） ・個別支援検討・障害者の支援について	11名
9月16日	・オンライン研修（利用者情報、支援変更、情報共有） ・災害時の社協における業務の理解（講師）	14名
10月21日	・利用者情報、支援変更、情報共有、モニタリング集計 ・R6年度事業計画について・事例検討会	13名
11月18日	・利用者情報、支援変更、情報共有、モニタリング集計 ・高齢者の冬の支援、感染症について	14名
12月9日	・利用者情報、支援変更、情報共有、モニタリング集計 ・認知症の理解について	13名
1月20日	・オンライン研修（利用者情報、支援変更、情報共有） ・災害時の緊急持ち出し袋、簡易トイレの作り方	10名
2月17日	・オンライン研修（利用者情報、支援変更、情報共有） ・訪問介護の接遇・プライバシー保護について	14名
3月16日	・利用者情報、支援変更、情報共有、モニタリング集計 ・高齢者虐待防止、ハラスメント対策研修	11名

6 その他

新型コロナウイルス、インフルエンザ、RSウイルス等の様々な感染症が出現したが、感染症業務継続計画を実施し、予防まん延防止に努めた。また、5類移行に伴い、業務継続計画の見直しや、感染症対策もブラッシュアップし、支援が必要な利用者に対して、発症後も支援を継続した。また、町内の小学校にて福祉教育体験学習講習会や住民主体の外出支援サポーター養成講習を行い、介助法や介護の啓発を行った。

【事業の成果と課題】

令和4年度より、要介護者の利用者数、派遣時間が減少しており、令和5年度も身体介護を必要とする、重度者の利用者数が減少した。介護事業の減少については、予測困難だったため、予算執行が厳しい状況であった。国も地域包括ケアシステムの構築を推奨されていたが、現状は重度化すると施設入所を希望される状況が多かった。また、施設入所される利用者については、家族の就労都合や介護疲れ等の理由等もあったため、利用者が最期まで住み慣れた地域で在宅生活が送れるよう、利用者の重度化防止に努め、自立した在宅生活が継続できるよう介護支援専門員と共に地域包括ケアの実現に向けて支援していく。

3-5 障害福祉サービス 居宅介護・重度訪問介護・同行援護事業

1 事業概要

利用者の尊厳を保持し、豊かな生活を実現するため、身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病者の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介護、その他の生活全般にわたる必要な援助を行った。

2 事業内容

(1) 身体介護に関すること

- ① 入浴の介護、② 排泄の介護、③ 食事の介護、④ 衣類着脱の介護、
⑤ 身体の清拭、⑥ 外出時の介助、⑦ その他必要な身体介護

(2) 家事援助に関すること

- ① 調理、② 衣類の洗濯や補修、③ 住居等の掃除や整理整頓、
④ 生活必需品の買い物、⑤ 関係機関との連絡、⑥ その他必要な家事

(3) 相談及び助言に関すること

- ① 生活、身上、介護に関する相談助言、② その他必要な相談助言

3 利用状況

(単位：人、時間)

	身体障がい者				知的障がい者				精神障がい者				合計		
	利用者数	派遣回数	派遣時間		利用者数	派遣回数	派遣時間		利用者数	派遣回数	派遣時間		利用者数	派遣回数	派遣時間
			身体	家事			身体	家事			身体	家事			
4月	14	244	271.5	51.5	4	33	21.0	17.5	7	42	20.5	38.0	25	319	420.0
5月	14	280	282.0	57.0	4	35	20.5	18.0	7	49	23.0	45.0	25	364	445.5
6月	15	279	266.0	55.0	3	32	20.0	16.5	7	49	24.0	46.5	25	360	428.0
7月	15	282	286.5	55.0	4	35	19.5	18.0	7	48	21.5	45.5	26	365	446.0
8月	15	280	263.0	56.0	3	33	20.0	16.5	8	51	23.0	46.5	26	364	425.0
9月	17	290	275.0	59.5	3	39	19.5	22.5	8	59	28.5	46.0	28	388	451.0
10月	16	293	286.0	67.0	4	35	21.5	23.0	8	57	29.0	47.0	28	385	473.5
11月	17	292	286.5	64.5	3	33	20.0	20.0	8	59	30.5	48.0	28	384	469.5
12月	17	291	291.5	64.0	4	36	21.0	24.5	8	57	20.0	54.0	29	384	475.0
1月	16	276	286.0	51.5	4	34	19.5	21.0	8	56	20.0	52.5	28	366	450.5
2月	17	259	241.5	65.0	4	32	14.5	23.5	8	59	21.5	55.5	29	350	421.5
3月	18	290	277.5	79.0	4	34	20.0	24.5	8	60	23.0	54.0	30	384	478.0
R5計	191	3,356	3,313	725.0	44	411	237.0	245.5	92	646	284.5	578.5	327	4,413	5,383.5
R4計	180	3,480	3,331	592.0	57	425	257.5	225.0	78	499	208.0	443.0	315	4,404	5,056.5
増減	11	△124	△18	133	△13	△14	△20.5	20.5	14	147	76.5	135.5	12	9	327

【事業の成果と課題】

令和5年度の障害福祉サービスについては、精神障がい者の支援が増加した。新規利用者についても、若年層や引きこもり、うつ、ストレス関連障害、発達障害等で日常生活が困難になってしまう利用者に寄り添い、サポートを行った。

また、従業者に対しても、ストレスを溜めないようストレス研修を行った。

長泉町自立支援協議会員として地域のニーズ把握に努め、必要なサービスや支援を継続し、障がいがあっても暮らしやすい地域にしていきたい。

3-6 移動支援事業

1 事業概要

利用者の尊厳を保持し、屋外での移動が困難な身体障害者、知的障害者、精神障害者、発達障害者の外出支援を行い、地域における自立生活および社会参加を促すことを目的として、社会生活上必要不可欠な外出や余暇活動などへの参加のための移動を支援する。ただし、通勤通学等常時利用する場合は対象外となる。

2 事業内容

(1) 移動介助に関すること

① 通院等の介助、② 社会参加等の移動支援

(2) 相談及び助言に関すること

① 生活、身上、介護に関する相談助言、② その他必要な相談助言

3 利用状況

	利用者数（人）	派遣回数（回）	派遣時間（時間）
4月	7	21	44.0
5月	9	21	48.0
6月	10	28	65.5
7月	11	20	44.5
8月	10	19	42.5
9月	7	15	28.0
10月	12	21	46.5
11月	7	18	42.5
12月	10	19	45.0
1月	9	14	27.5
2月	9	16	41.5
3月	9	19	49.0
R5 期間計	110	231	524.5
R4 期間計	97	182	415.0
増 減	13	49	109.5

【事業の成果と課題】

令和5年度も新規依頼や回数、時間も増加した。移動支援については、身体介護あり、なしの区分があるが、歩行介助や車椅子介助の必要のない利用者依頼もあり幅広いニーズに対応した。障がい者が、いきいきと暮らせるよう社会参加、余暇活動等、楽しみや生きがいを持って生活できるよう支援していく。

今後も支援が継続できるよう、必要な人材確保・育成に努めていく。

3—7 地域活動支援センター事業（長泉町受託事業）

1 事業概要

障がい者の創作的活動、機能訓練等のサービスを通所事業として提供することにより、自立促進、生活改善、身体機能の維持向上等を図り、自立と社会参加を促進することを目的としている。

利用者が自らの動機づけを失わないようなケアを実施し、手段的日常生活動作（外出、買物、食事の支度など）の促進を図る。特に同様の障がいをもつ方との情報交換や意見交換、歩行や軽スポーツによる体力向上、地域社会との交流を通して、精神的な安定や気力を保ちながら明確な目標をもてるよう、障害福祉サービスの利用や多様な地域交流への参加について実践する。

2 事業内容

- ① 創作的活動事業（趣味・余暇活動）、② 社会適応訓練（外出訓練等）
③ 機能訓練、④ 給食サービス、⑤ 入浴サービス、⑥ 送迎サービス

3 利用状況

月	開所日数	登録者数	利用 延人数	主 な 行 事 等
4 月	20	9	69	鯉のぼりの壁画作り
5 月	20	9	62	カブトムシのクラフト
6 月	22	9	67	紫陽花の壁画作り、てるてる坊主作り
7 月	20	10	61	七夕短冊作り・朝顔作り
8 月	22	9	63	向日葵の壁画作り
9 月	20	9	67	葡萄作り、ハロウィンの壁画作り
10 月	21	9	62	秋の風物詩の彩色、ハロウィンの壁画作り
11 月	20	9	61	クリスマスの壁画作り、リース作り
12 月	20	9	54	干支の壁画作り、絵馬作り
1 月	19	9	65	節分の壁画作り
2 月	19	9	70	バレンタインデークラフト作り
3 月	20	9	64	桜の壁画作り
R5 期間計	243	109	765	
R4 期間計	240	111	788	
増 減	3	△2	△23	

4 活動報告

- (1) 外出訓練：コロナ感染拡大防止のため外出活動は自粛
- (2) 趣味活動：書道、パズル、デジタル絵画
- (3) 創作活動：各月のクラフト、壁装飾作品
- (4) 運動療法的活動：歩行訓練、健康体操
- (5) 作業療法的活動：脳トレ、彩色、線繋ぎ、スキルビーズ、刺し子

【事業の成果と課題】

新規利用者が1名増えたが、1名グループホーム入所となったため登録人数の増加には至らなかった。

新型コロナウイルス感染症拡大対策として、外出を中止し、送迎の車窓から桜をはじめ季節の花を楽しむ場を設け利用者に喜ばれた。また、居室での活動を多く取り入れ壁画作りを充実させた。

利用者のなかには、大人の塗り絵コンテストに参加する目標に向かって取り組まれたり、障がい者週間に展示する作品を熱心に作られている利用者もあり、充実感や達成感を提供することができた。

地域活動支援センターを利用することで生活リズムが安定し、働くことへの意欲を見せる利用者もあり、就労へ繋がるよう引き続きサポートを続けていく。

利用者が明確な目標を持ち、今後も生きがいづくり、仲間作りができるよう支援していく。

Ⅱ 公益事業

1 在宅福祉総合センター

1－1 在宅福祉総合センター事業（長泉町指定管理事業）

1 事業目的

在宅福祉総合センターいずみの郷は、在宅で援護を必要とする高齢者や障がい者に、総合的なサービスを提供する設備を整備し、既存の福祉会館と連携し、町の福祉の拠点として設置された。当会は、町の指定管理者として、施設利用による住民相互の交流を図るため、集会室、研修室を月曜日から土曜日まで開館し、各種団体の会議や研修会等に施設を提供した。

2 管理業務の状況

(1) 総合清掃管理業務

① 日常清掃（土・日・祭日及び年末年始を除く毎日）

床面清掃・吸殻処理・紙くず処理・什器備品の除塵・トイレ清掃・給湯室・扉・浴室床面・浴槽・駐車場、外周・タイル、カーペット・施設内設備等

② 定期清掃（年1回～6回）

長尺塩ビシート、リリウム床シート、ビニール床タイル・フローリング・窓ガラス（年6回）
タイル、カーペット、厨房内清掃（年2回）

床面剥離洗浄清掃、アルミカーテンウォール清掃（年1回）

(2) 総合設備管理業務

① 施設巡回保守点検業務

② 空調設備保守点検業務

③ 給水設備保守点検業務

④ 排水設備保守点検業務

⑤ 消防設備保守点検業務

⑥ 昇降機設備保守点検業務

⑦ 自動扉設備保守点検業務

(3) 衛生管理業務

① 室内空気環境測定業務

② 害虫等防除業務

③ 貯水槽清掃及び水質検査業務

④ 湯水（レジオネラ菌）検査

(4) 夜間機械警備業務（毎日）

(5) 電気保安業務（月1回）

3 施設利用状況（令和5年4月～令和6年3月）

(1) 会議室等件数・利用率及び利用料収入

月	集会室		研修室		貸館利用料 収入 (単位：円)
	件数 (単位：件)		件数 (単位：件)		
	有料	無料	有料	無料	
4 月	7	14	0	7	12, 000
5 月	7	11	0	5	14, 000
6 月	6	18	0	6	12, 000
7 月	5	18	0	4	18, 800
8 月	6	14	1	3	14, 000
9 月	5	17	0	3	8, 000
10 月	11	11	1	4	22, 800
11 月	10	12	1	6	10, 000
12 月	8	16	0	9	18, 800
1 月	7	11	0	6	12, 000
2 月	6	16	0	10	16, 000
3 月	6	19	0	10	12, 000
R5 期間計	84	177	3	73	170, 400
R4 期間計	83	162	5	51	170, 000
増 減	1	15	-2	22	400

* 夜間貸出なし

(2) 長泉町在宅福祉総合センター利用者数

(単位:人)

月	開所 日数	集会室			研修室			合計
		有料	無料	小計	有料	無料	小計	
4 月	25	191	440	631	0	77	77	708
5 月	27	147	370	517	0	50	50	567
6 月	26	136	338	474	0	40	40	514
7 月	26	103	356	459	0	39	39	498
8 月	27	107	293	400	5	20	25	425
9 月	26	104	221	325	0	27	27	352
10 月	26	224	189	413	1	52	53	466
11 月	26	296	252	548	5	66	71	619
12 月	23	192	332	524	0	63	63	587
1 月	24	125	253	378	0	50	50	428
2 月	25	108	347	455	0	121	121	576
3 月	26	114	301	415	0	68	68	483
R5 期間計	307	1,847	3,692	5,539	11	673	684	6,223
R4 期間計	306	1,463	3,220	4,683	38	447	485	5,168
増 減	1	384	472	856	-27	226	199	1,055

【新型コロナウイルス感染症対応経緯】

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、令和5年5月8日から5類感染症に変更されたことに伴い、原則、利用制限を解除した。

手洗い、咳エチケットなど基本的な感染対策は継続する。

4 水道光熱及び燃料使用量

月	水道光熱使用量				水道光熱費 (単位：円)
	電 気 (単位：kwh)	都市ガス 給湯 (単位：m³)	都市ガス 空調 (単位：m³)	上下水道 (単位：m³)	
4 月	13,231	1,574	605		607,156
5 月	10,919	1,595	225	900	844,911
6 月	13,018	1,466	704		721,446
7 月	22,726	1,265	1,815	828	1,307,889
8 月	17,333	1,259	3,430		993,645
9 月	15,663	1,224	3,394	868	1,126,561
10 月	12,641	1,324	1,873		810,696
11 月	13,071	1,560	554	965	912,345
12 月	14,214	1,703	1,051		851,505
1 月	15,685	1,504	1,316	913	1,074,299
2 月	15,532	1,821	1,643		945,246
3 月	13,815	1,645	1,304	790	978,078
R5 期間計	177,848.0	17,940	17,914	5,264	11,173,777
R4 期間計	251,930.6	18,137	25,234	5,239	10,614,164

○水道光熱費・燃料費については、各サービス区分にて面積按分を行っている。

5 安全対策

(1) 在宅福祉総合センター入場者傷害保険

施設利用者を対象とした傷害保険に加入した。

1名あたりの担保内容、年間保険料

種 別	補償額	備 考
死亡・後遺障害	500万円	施設利用者を対象とする。
入院日額	4,000円	事故の日から180日を限度とする。
手術	外来20,000円 入院中40,000円	1事故に対して1回とする。
通院日額	2,500円	事故の日から180日の間のうち、90日の通院を限度とする。

(2) 防災訓練の実施

・地震防災訓練

実施日：8月27日（日）

参加者：職員12名

内 容：建物等被災状況確認、避難誘導経路確保、AED使用訓練。

消防計画を配布し、館内消火器・消火栓の配置、使用方法を各自確認。

・火災防災訓練

実施日：11月30日（木）

参加者：職員15名・利用者9名

内 容：火災発生時における利用者避難誘導訓練、消防（119番）通報訓練、
建物等被災状況確認、避難誘導経路確保、AED使用訓練。

(3) 富士山南東消防本部立入検査

実施日：7月3日（月）

消防対象物（消防法第4条）

改善を要する事項	内 容	改善日
防火管理	・防火戸の閉鎖障害となる物件（1階階段踊り場部分に設置された立て看板）を放置しないこと	8月9日
	・防火戸の閉鎖障害となる物件（2階階段踊り場部分に設置された掃除用具箱）を放置しないこと	8月10日
防 炎	・地下1階事務所横の休憩室及び1階日常動作訓練室内にある衝立を防火性能を有するものとする ・1階日常動作訓練室前にある目隠しののれんを防火性能を有するものとする	8月22日
避難設備	・全ての階段踊り場部分に設置された通路誘導灯の代替としてある非常用の照明装置のバッテリーが切れているため、是正すること	8月10日

6 修繕等実施状況（10万円以上）

（単位：円）

項 目	金 額	内 容
リハビリテーション室照明器具修理	154,000	不良箇所 LED 対応器具交換
遊歩道フットライト交換修理	346,500	腐食器具交換
エレベーター1号機新型光電式ドアセンサー取替	495,000	障害者用センサー故障取替
2階北側階段前誘導灯設備交換	123,200	照度不足交換*消防設備点検指摘箇所
屋上建屋内消火栓設備ホース交換	134,200	水漏れ交換*消防設備点検指摘箇所
屋上非常電源蓄電池触媒栓交換	112,200	有効期限切れ交換*消防設備点検指摘箇所
エレベーター1・2号機ドアハンガーローラー取替	275,000	ドア上部ローラー消耗による取替
1階リハビリテーション室内流し設備修理	440,000	流し台漏水修理
南側階段踊り場非常灯付照明器具修理	358,600	照度不足交換*消防立入検査指摘事項
敷地内防草シート張替	451,000	北側民家隣地部整備
屋上笠木シーリング補修	291,500	屋上漏水箇所補修

敷地内ベンチ撤去	105,600	遊歩道突当り足踏み健康器具横ベンチ撤去
リハビリテーション室照明器具修理	126,500	不良箇所 LED 対応器具交換
屋外防雨型壁付外灯交換	161,700	遊歩道側壁面誘導灯交換
1 階事務所照明器具修理	132,000	不良箇所 LED 対応器具交換
リハビリテーション室照明器具修理	250,800	不良箇所 LED 対応配線修理、電球交換
研修室照明器具修理	174,900	不良箇所 LED 対応器具交換

【事業の成果と課題】

感染症対策のための利用制限が解除され、集会室・研修室共に前年同期比で増加となった。

今後も引き続き、感染症に対する基本的な対策は継続しながら「安心・安全の確保」を第一に利用者増加に努め、サービスの向上に取り組んでいく。

光熱費の高騰は続いているが、都市ガスは国の対策事業による単価値引きが行われ、抑制された。電気料の高騰に対して、長泉町より追加の受託金を受けることで、収支の均衡に影響なく事業を終えることができた。今後も動向に注意し、継続的な支出の削減に努めていく。

1―2 在宅福祉総合センター食堂事業

1 事業目的

在宅福祉総合センター食堂事業は、一般食堂及びデイサービスの給食を提供している。また、地域住民の憩いの場としての役割も果たしている。

2 調理員の概要

調理員 3 名

3 一般食堂食数内訳及び売上金収入

月	定食	調理員 昼食	検食	その他	合 計 (単位：食)	売上金 (単位：円)	サービスチケット 利用者 延人数 (単位：枚)
4 月	98	0	27	9	134	74,200	0
5 月	114	0	26	2	142	84,350	0
6 月	86	0	26	2	114	65,800	0
7 月	83	0	26	7	116	69,450	0
8 月	82	0	27	13	122	65,500	0
9 月	96	0	26	4	126	73,800	0
10 月	109	0	26	5	140	81,150	0
11 月	87	0	26	2	115	66,950	0
12 月	72	0	24	7	103	58,000	0
1 月	0	0	24	2	26	18,200	0
2 月	0	0	23	3	26	18,200	0
3 月	0	0	18	1	19	13,300	0
R5 期間計	827	0	299	57	1,183	688,900	0
R4 期間計	954	213	307	19	1,493	796,050	73
増減	△127	△213	△8	38	△310	△107,150	△73

※令和4年度をもって「サービスチケット」の配布・使用は終了

※令和5年4月分より価格改定 定食 500 円から 550 円とする

※令和6年1月より一般食堂休業

4 デイサービス給食売上食数内訳及び売上金収入

月	通所介護 事業 (単位：食)	認知症対応型 通所介護事業 (単位：食)	地域活動 支援センター (単位：食)	合 計 (単位：食)	売上金 (単位：円)
4 月	237	71	45	353	247,100
5 月	252	84	46	382	267,400
6 月	292	79	47	418	292,600
7 月	307	63	42	412	288,400
8 月	319	64	49	432	302,400
9 月	323	68	53	444	310,800
10 月	296	70	49	415	290,500
11 月	266	81	48	395	276,500
12 月	269	66	44	379	265,300
1 月	241	66	51	358	250,600
2 月	262	57	52	371	259,700
3 月	279	38	48	365	255,500
R5 期間計	3,343	807	574	4,724	3,306,800
R4 期間計	3,258	1,152	672	5,082	3,303,300
増 減	85	△345	△98	△358	3,500

※令和5年4月分より価格改定 1食650円から700円

【事業の成果と課題】

管理栄養士退職に伴う体制変更により、給食ボランティア及び実習生の受け入れは中止した。

令和5年4月分より食材の高騰のため価格改定を行った。

食堂は全席開放し、「社協だより」「ホームページ」等での情報発信やグループ利用に対応した予約の受付等を行うことで営業してきたが、デイサービス利用者の減少により、売上食数は減少となった。

食堂事業は、開設当初より施設利用者及びデイサービス利用者向けに実施してきたが、支出が収益を上回る中でサービス区分間の繰入等により運営されており、更に改正電子帳簿保存法に対応するためのシステム改修などの新たな負担が生じることから、長泉町との協議及び長泉町在宅福祉総合センター運営委員会での審議の結果、令和6年1月より一般食堂休業、令和6年3月31日をもって食堂事業を廃止した。

事業報告の附属明細書

令和５年度事業報告には、社会福祉法施行規則第２条の２５第３項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しない。

社会福祉法人長泉町社会福祉協議会